京城日報 三日夕刊

◎手兵一千を牽ゐて
馮國璋氏入京の光景

馮國璋氏は一日午後零時五十分兵一千を率て入京せるが驛頭には段總理を初め文武官多數の出迎あり儀仗兵憲兵の警衛殿重にして特に装飾せる公式馬車を用意したるも馮氏は之れを辭し自動車にて宿舍に入れり之れが為め公式馬車は空虚の儘多數の儀仗に護衛され既定の順路を進みたる為め傍觀者は何れも呆然たりき（北京特電）

◎梁、湯兩總長辭職か

内務總長梁啓超教育總長湯化龍の二氏は辭職すべし（北京電報）

◎上海に一個師團急派
浙江省形勢不穩

北京政府は一箇師團の兵員を上海に急派し浙江省に於ける形勢の不穩に備へたり（北京電報）

◎英佛兩軍攻勢開始
獨兵三千五百捕虜となる

英佛聯合軍は白耳義イープルを中心とし十五哩の戰線に於て新に攻勢を開始し既に獨兵俘虜三千五百人を得たり

◎露新内閣組織計畫

露國に於ける各種階級の代表者は目下新内閣組織に關し協議中なり（露都電報）

◎南歐に一新國創建
三民族合同して

セルビヤ、フローツ、クローヴエンスの三民族は南歐に一新國を創建するに決す此人口約一千二百萬人なり（路透電報）

◎社會黨國際大會

聯合國社會黨は八月二十八日英京倫敦に九月九日より十六日迄瑞典の首都ストツクホルムに國際大會を開催するに決定せり（倫敦電報）

◎獨逸外相愈々更迭

土耳古駐紮獨逸大使キユルマン氏はチンメルマン氏の後を襲ひて獨逸外務大臣に任せられたり（倫敦特電）

◎正貨現在高

七月三十日現在正貨九億二千四百萬圓を算せり（東京電報）

◎山根東宮武官長

東宮武官長陸軍少將男爵山根一貫氏は肥滿性腎臟炎に肺炎を併發し三日午後零時三十分逝去せり同少將の危篤に陷るや兩陛下より御菓子一折、東宮殿下より葡萄酒一打を御見舞として御下賜あり猶ほ皇后陛下、東宮殿下より二日喪中御尋ねとして同邸に御料理三十人分の御下賜ありたり（東京特電）

△逝去せる山根一貫男

（記者曰く）陸軍少將從四位勳三等功四級男爵山根一貫氏は明治二年山口に生れ明治二十五年歩兵少尉に任せられ爾後累進して四十三年歩兵大佐に陞り東宮武官長に補せられ大正五年四月少將に陞任す家には夫人みつ子（四二）あり、令孃信子（一四）息成一氏（一七）を抱いて遺族愁歎せしは惜むべきことなり享年四十有九

◎交渉中の支那借款

北京ガゼツト紙の報ずる所によれば近來支那政府當局は專ら外債の成立に腐心し一方交通部に於ても總長曹汝霖、次長葉恭綽兩氏等屢々天津に赴き交通借款の成立に就て運動する處あり交通當局の運動なれば即ち借款の附帶條件は必ず交通方面に關すべきものたるや勿論なり某方面よりの一消息によれば曹、葉氏等の目下本邦某會社と交渉しつゝあるは額面日金二千萬圓、條件は京綏鐵道を日支合辦と爲さんとするものにして目下は其利率手取等に就て協議中なるも未だ具體的成案を見る能はず一説に據れば目下興業銀行借款交渉進行中なるが近は總額六百萬元にして抵當は未だ確定せずと政府は目下交渉中なる二千萬圓以外更に米商裕中公司と交渉し粹欽鐵道に因り米國より一億の借款を爲さんとしたるも中途之を變更し欽州より寶慶に至る鐵道敷設を以て一千萬元を借款するに決し且又交渉中の由なるが尚中國銀行總裁王克敏氏は該行發行紙幣信用維持用として中法銀行より五百萬元を借款すべく運動中なりと（北京）

◉總督歸任期

東上中なる長谷川總督の歸任期に就きては未だ確たる報道なきも多分四五日頃東京出發の運びを見る可く京城着は十日前後なる可し

◉在官と退官者

鮮人總督府の經營を滿鐵に委任する以前鐵道局に在勤せし官吏は官吏たる身分を向後二年間保留されたるが之の動奏任官は合計約五百六十名に達し既に在官希望の申出者三百名に達し之等は全部手續を終了せしも猶ほ餘の二百餘名は目下總督府にて手續中のものなるが奏任官以上は殆んど在官の儘となるべく判任官中の退官者も多からざる模様なり

◉在鮮將官異動

陸軍大異動期を眼前に控へ居る際北鮮出張中の立花師團長が豫定を繰上げ急遽歸任する事となりしは陸軍異動との間に何等かの關係を有する事は想像に難からざる所に依れば軍參議長白水淡少將が中將に陞進し北方面の要職に補せらるゝ外在京城將官の異動を見る事となる結果なりと云ふ

◉辭令

二日附を以て左の通り辭令ありたり

補京城地方法院判事 大邱地方法院安東支廳判事 境誠之進
補大邱地方法院仁川支廳判事 大邱地方法院金泉支廳判事 林良二郎
補大邱地方法院安東支廳判事 大邱地方法院判事 山内銀次郎
六級俸下賜 釜山地方法院判事 服島榮治
補大邱地方法院判事 公州地方法院判事 坂口喜助
補光州地方法院判事 清州支廳判事 大塚卅六
補京城地方法院判事 平壤地方法院判事 文錫圭
十級俸下賜
補公州地方法院判事 釜山地方法院晋州支廳判事 全炳夏
補公州地方法院支廳判事 公州地方法院判事 梁大鄕
補大邱覆審法院判事
九級俸下賜

◉立花中將歸期

北鮮巡閲中なりし第十九師團長立花小一郎中將は九月末歸京の豫定なりしも都合上豫定を變更し來る八日龍山著列車にて歸任する由

◉理事長挨拶

鐵道統一に關する諸般の事務は無事終了したるを以て國澤滿鐵理事長は久保態務課長上田秘書役を隨へ三日朝總督府を訪問山縣政務總監以下へ挨拶

◉理事長等南下

鐵道局長其他の幹部と共に入京中の滿鐵理事長國澤新兵衛博士は隨行の久保態務課長及上田秘書役並に京城管理局の三木營業課長、工務兩課長伊藤、西部氏等を隨へ線路及び營業狀態視察のため四日午前八時十分南大門驛發列車にて南下し十日京城を發し京元京義各線を巡視する由

◉横井局長歸任

大阪出張中の滿鐵京城管理局長横井實郎氏は三日午前八時龍山著列車にて歸任せり

◉參謀等歸任

北鮮地理調査の為め出張中の大島參謀大尉及び高橋大尉は三日龍山著列車にて歸任せり

◉内田大使夫人

駐露大使子爵内田康哉氏令室まさ子夫人は令孃及び從者同伴釜山經由三日午後八時五十分南大門驛著同九時十分發鮮滿直通列車にて郷里大阪に歸鄕すべしと

◉視察團日程

五日朝南大門驛著入京の一行の鮮人視察團日程左の如し

△四日 南大門驛著、朝鮮ホテル、商品陳列館、博物館、昌德宮、景福宮、總督府、南山公園、奬忠壇、市街見物 △五日 仁川 △六日 孝昌園、西大門監獄、高等普通學校、京城各所見物 △七日 釜山 △八日 東萊

◉日本海横斷航路の價値

滿津より城津元山を經て敦賀へ航行する朝鮮郵船社船平壤丸は今回日本海横斷臨時一航海試航の途に就き八月二日午前一時元山出發の豫定なり而して乘客荷物とも已に申込の締切を為したるが

▲荷客共滿載 の盛況にて牛百五十三頭粘土（陶器用）七十噸製紙原料粘石五十噸にして二等船客の如きも滿員なり豫定の如く總督府よりも農商工部本岡事務官朝鮮郵船本店より瀧氏視察の途に著く筈なるが由來日本北鮮横斷航路は未だ企圖されし事なく個々牛積船の裏日本に向け渡航せしと事の稀に有るを發見するのみなりしと云ふ爾來本横斷航路は當業者及び為政者間

▲多年の懸案 にして帝國議會にも已に十數度提案されたる事あり曩に京元線の開通するあり清津線の敷設あり北鮮及び日本海沿岸航路の發達と共に其の物資の集散日に激増し人文の發達交通の利便と時機正に熟し愈々朝鮮の試航を企圖するに至れるもの定期航路として裏日本北鮮の連絡運輸に非ざるを知るべく金澤北陸方面に絶大の利便を實現する事蓋し遠き將來に非ざるを知るべく之等に由り

△北鮮の肥料 は裏日本の包裝せられたる鮮地に輸入さるべく之等に由り推せば必ずや其の需要は極めて多き現況なる事實を暗るより明かなる事實なり元山より敦賀迄約四百四十五浬滿津より敦賀間九浬半の速力にて約五十時間航程なりと云ふ從來北鮮方面の物資は主として日本郵船或は大阪商船にて釜山門司等經由の上大阪名古屋方面へ搬出さるゝもの多く船腹不足の折柄時間の不經濟は引いて運賃の騰貴其他不便を感ずるもの多く日本海横斷航路開始は實に焦眉の急務たるべしと（八月一日元山特電）

◉滿洲進展
松平東拓理事談

東拓にては十月一日より新法律の實施に伴ひ東京へ本社の移轉及び滿洲支店出張所の新設を行ふ事となり居れるが東京本社は丸の内内幸町に決定し居れるも滿洲方面には

▲奉天支店 のみ其の設置法律にて定まり居れど其他の出張所新設地は未だ會社に於て協議中に係り全部の決定を見居らず但し十月一日よりは支店並に出張所を開設するの豫定に付近く總裁の歸任を見ば尚ほ打合せの上其の位置並に名稱等を定むべし又滿洲に於て營む不動産金融業務を若干の既設鮮銀支店及び出張所に其の代辦を依託する件は目下未だ鮮銀行幹部との間に協定中にて一切の事は今日の所最後の決定を見るに至り居らず但し此方も時日迫るに付遠からず何等か決著すべし尚ほ

▲重役の任地 は予が主として東京支社詰めとなるは事實なるも會社事業の策源地は依然朝鮮にあり又滿洲に活動せざる可らず而して重役は時々會合打合せを要する事多き折々滿鮮に往來し多く滿鮮方面に在任する重役諸氏と社務の打合せをなす筈なり

◉統一記念宴會

三日午後七時より朝鮮ホテルに於て國澤滿鐵理事長の鮮滿鐵道統一記念招待會あるは既報の通りなるが本宴

◉東拓臨時總會

目下金剛山探勝中の石塚東拓總裁は來る八日頃歸任下旬迄に東上する由なるが今回の臨時總會列席のため東上する由なるが今回の臨時總會は東拓會社法の改正に伴ふ當然の定款改正並に韓國と云ふあるを朝鮮とする如き名稱の變更等にて殆んど形式的のものに付何等問題とするに足らざるべく松平總務部長は社務の關係上東上せざる由

□人物交代の滿洲
八月一日 大連通信員

△新任關東都督 官制改正の結果新に關東都督に任せられたる元滿鐵總裁中村雄次郎男は三十日入港の嘉義丸にて歸連したるが新聞記者十數名は海務局の檢疫船に便乘を求めて港外に之を出迎へ種々の質問を連發し中村男は得意滿面の上に非常の元氣にて一々之に應答したり、翌三十一日愈よ官制改革せられ都督任命の電報あるや男爵は秘書に命じて百數十箇所へお禮の電報を發せしめたるが萬事老練の上に頗る圓滿主義の人なれば上の氣受け宜しかるべく而も六十四歳にして特別の御思召により再び現役に服し關東都督の任を拜し從來の三頭政治を廢し總て之を一手に掌握して滿洲に臨むことなれば其得意の程推して知るべし、聞く男爵は都督任命後も可成大連に居任して大綱を統べ事務上のことは民政長官に一任し警察上のことは警務總長に一任し都督は專ら滿鐵の經營就中鞍山店製鐵事業の進捗に鋭意監督の實を擧ぐる方針なりと聞く併し新都督として滿洲開發の上に追々新經綸を實現すべきは當然なるべし、因みに中村新任都督は一兩日中旅順に至り前都督中村覺將軍に遇ひて親しく會談し新任の挨拶等をなす筈也

△新舊民政長官 元關東都督府民政長官白仁武氏は三十日大連入港の嘉義丸にて中村滿鐵總裁と共に歸連したるが記者の質問に對しては餘り多くを語らず唯政府より拓殖局長官たれとの内命を受けたりとのみ返答し東京の夏は十年振にして本年は一層の暑熱を覺えたり夏季は矢張り旅順、大連の地が凌ぎ宜とて頗る土地なつかしき風情に見受けられぬ、實にや白仁長官は明治四十一年五月新任以來殆ど十箇年間關東州に在りたる人なれば今や新設の拓殖局長官として東京に歸るとは云へ十年在任の關東州を去りて今更東京に戻るは何となく名殘惜しきことならん、白仁氏は温厚篤實の人物にして其の閲歷よりいふも大臣として優に一省となるの場合は勿論その大臣として恥かしからぬ人なれば他日同局が拓殖上その智識と經驗を傾倒して具さに盡すならん乎、また白仁氏の後任宮尾舜治氏は以前拓殖局の副總裁として名あり帝大在學中非常の苦學を爲して具さに社會の辛酸を嘗めたる人なれば植民的智識と經驗のみならず世故にも通じ手腕に於ても稀に見るの新人物なりと云へば中村新都督の下に在りて充分に敏腕を發揮さるゝことゝ一般に期待され居れり、因みに白仁氏は八月二十日頃旅順發東京に向ふべく宮尾新任長官の著任は九月上旬なるべしと云へり

△警務總長及領事 新任關東州憲兵隊長にして都督府警務總長たる隈部少將は八月一日午前九時廿分鐵路旅順に着任し多數官民の出迎を受て憲兵隊本部に入りたるが氏に對する當地の評判も良好にして新制度の實施と共に氏の力に依り滿洲の警務に必らずや一新生面を開き從來の面目を一變すべきことと疑ひなしと信ぜられつゝあり、尚ほ新官制の實施と共に都督府及び滿洲駐剳の領事官に一大更迭あるべく大連民政署長として令聞ある大内丑之助氏はその特別任用令の下に奉天總領事として重要の椅子に就くべしとの噂あり長春、吉林、鐵嶺、哈爾賓等の領事にも近く夫々更迭を見ることなるべし

◉前都督長官 消息

都督府官制改正の結果關東都督より軍事參議官に榮轉したる中村覺男は中村新都督に事務引繼を終はり次第歸東すとの説あるも確聞する處に據れば同男は本夏内地は非常の酷暑なれば當分黄金山の別莊に避暑し秋涼動くを待ちて始めて上京せんとする意向あり又拓殖局長官に榮轉したる白仁前民政長官は在滿十年に及びて公私の關係極めて深大なれば引續き公務其他を從容處理したる後本月末頃出發赴任す可しと（旅順）

◎普魯西内閣改造か
獨宰相の墺都訪問後

獨逸宰相ミハエリス氏は近く維也納を訪問すべく歸還後普魯西政府の改造を圖らん（紐育電報）

◎吉長鐵道調印如何

日本政府の吉長鐵道契約調印申込みに對し支那政府は國會の意見を酌酌し原案修正の上調印すべき旨を回答せり（北京特電）

◎學長問題附託

早稻田大學々長問題に就き二日評議員會開催決議の結果之が解決を五名の委員に委託せり（東京電報）

◉警察官赴任 釜山警察署行政係主任警部田良治氏は今回鎮海警察署に榮轉し赴任の由なるが後任者は元山警察署警部中里金助氏任命せられ本日着任の筈なり（釜山）

地方通信 大田

▲大豆作と旱害 連日の大旱魃にて大田附近の畑作は何れも多少の旱害は免れざる模様なるが就中大豆作の最も旱害は著しきものある如く甚しきは開花の儘枯死したるもの鮮からずと云ふ▲滿鐵預金と農工支店 滿鐵會社は八月一日より大田驛附近の日々收入金を韓國農工銀行大田支店へ預金する事に協議纏りたる由▲小麥相場高唱 大田地方に於ける本年の小麥收穫高は豫想以上の實收ありたるものゝ如き品質は年年産に比し却つて優良のものあり現今相場は石建九圓六七十錢唱へにして農家は先高を見越し賣り惜みの風ある處商人は現物の出廻るに從ひ買占めに狂奔する傾きあるも味噌醬油釀造業者の如き消費者にありては商價不引合の氣構にて買ひ進まざる模様なり▲貨物停滯と品不足 大田市場は勿論京釜沿線に於ては目下砂糖麥酒清凉飲料水焼酎等の物資は凡て物不足を告げ各商家は一時の需用を彌縫する為め全力を盡す有様なるが其の原因は内地朝鮮間の船腹不足と鐵道の停滯も多少の原因なるべく殊に内地に於ける經濟界の順調は是等貨品の需用多き為め各貨主の賣り急ぎざるも主なる原因の一なるべしと云ふ殊に砂糖の如きは一纏めに十俵を購入するが如きは價格の如何に拘はらず殆んど不可能のものと觀測せられつゝあり▲大田米穀檢査成績 大田米穀檢査所に於ける七月中の檢査成績を聞くに玄米百三十五叺全部下格、中白二百五叺内上格二十三叺下格百八十二叺、大豆百六十一叺全部下格なるが同月中に於ける米大豆の出廻りは到つて尠かりしは雨期及び農繁期に際したるは其一原因なるべきも産地の特米殆んど見るに足るべきものなき一證據なるべしと

人事消息

▲井川正氏（釜山日報社長）三日朝入京浦尾へ
▲長谷川發雄氏（西鮮日報社長）三日朝入京龍山本へ
▲齋藤彥氏（辯護士）同本田旅館へ
▲持地六三郎氏（遞信局長官）二日夜三浪津より歸任三日夜七時五十分發列車にて
▲矢野久三郎氏（釜山稅關長）浦尾旅館へ
▲シフトレー氏（浦港駐在露國副領事）三日朝入京朝鮮ホテルへ

汽車發着時間表（行南）（行北） [illegible]

骨も溶かす焔の風に

◇汗みどろになつて道路修繕に働らく
地均らしローラ及びコールタ撒布車の係員◇

百二十度以上の暑熱と闘ふ職業

今日此頃の百度近い炎天に曝されて立働く仕事には何れ熱からぬ仕事はなく苦しからぬ入はないがそれにしても此の間から南大門通及び黄金町

■道路の修繕 に働いて居る路均らしローラ及びコールタ撒布車は見るから焦熱地獄の苦風を想ひ起させる地均しローラ乘りは火夫と機關士と一人で勉めて居るが此の日中は何んでも百二三十度の熱さを覺ねて焙きで燒けて汗と一緒に溶れ出して終ふかと思はれるさうだいくら炎天乾しでも風でも吹けばまだ

■幾分辛棒が 能きるが此の頃の癖に日中といへば風は薬に爲たくてもない、機關士とか火夫とか云ふものは熱い仕事と相場は極まつて居るが汽船とか普通のボイラに付いて居れば通風機が頭の上に來て居るしそれ〲充分の耐熱設備が有るし汽車の機關車は疾走するから機關手や火夫は

■意外に涼し いものであるが此の頃の地均らしローラ乘りと來ては上には天幕一枚で燃ね付くやうな日が照るし下からは熱し切つた焔のやうな風が吹き付ける中を出來るだけ緩くりローラを廻轉させて行くのだから時々目の方が先きに廻つて轉け出すやうな時が多いさうである、おまけに三千斤近かくもあらうと云ふローラを運轉するのだから

■可成の火力 を要するボラとローラの燒けた大鐵輪との狹い間に這入つて居るのだから其の苦しみには大抵の人間は參つて終ふ厭やだと思つても急に職業換へをする譯にも行かずとはローラ乘りの述懐であつたローラーと一緒に曳き廻はして居るコールターの撒布車も又

■其の苦熱は ローラ乘りに劣らぬコールターの撒布車ではポンプ係とホースの先を持つて居るものとが一番熱さうであるが何れにしてもあの悪臭のコールターを熱天に遮る日中にも休まず取扱つて居るのだから容易の仕事ではないコールターは一度

■車上の釜に 注ぎ込んで熔かした上にポンプで路上に撒布するのだが二丁離れた處を通行しても暑氣とコールターの臭ひで喉がしさうである位だから湯のやうに熱くトロ〱に溶けたコールターを撒いて歩くのだから有難くないお剩けに黒黒にコールターを撒布した路上の熱さは又格別で昨今でも百三四十度にはなると云ふ事だ

ローラ及びコールター撒布車（二日の午後黄金町にて）

斷水中の火災は消防に大困難

二日夜の火事と消防係員の苦心

二日午後十時五十分頃京城仁義洞一七〇金河潤方より出火同十一時半鎭火したるが原因は掘ランプの轉倒より石油散亂し大事に及びたるものにて急報に依り常備消防隊は豫て用意の腕用喞筒を以て防火に當ると同時に一面破壞消防隊をして風下の家並に延燒を防がしめ辛うじて一棟を燒失したるのみにて消止め得たるが腕用喞筒にても供給すべき水無く附近の井戸下水溝の汚水其の他の溜水を使用して必死に行動したる結果延燒を喰ひ止め得たり消防係員の談に當時は相當の風も在りたる爲め風下方面の延燒防禦の指揮に當りたる大樂第二部長初め隊員は熾なる火の粉を浴び帽子、著服等に燒穴を生じたるを見ても苦心の模樣知らるべく兎に角斷水は消防上の困難のみならず一般人民に不安を抱かせる次第にて今回の火災の如きは原因が石油にて延燒の迅速なりし上に水道の斷水時なりし爲め非常に困難を感じたり

◎京城のみの雨

引續き快晴である

二日午後の驟雨は人をして蘇生の思ひを爲さしめたるが京城測候所員の談に由れば雨は午後七時二十一分より降り出し同九時五分全く降り歇み其の降雨量は十一ミリメートル強にして此の雨は京城附近の盆地を中心として降り他に及ぼさず別に黄海道[illegible]に十ミリ及び南滿洲大連に三ミリ弱の降雨を見たるのみ天候は猶引續き快晴なるべしと

◎歩兵七十七聯隊 耐熱行軍

歩兵第七十七聯隊第二大隊は一日午前五時衛門出發鎭南浦街道を鳳油道に向ひ午後三時同地に到着其れより龍岡邑内に向け出發行程十三里の耐熱行軍を爲し演習の後同夜龍岡に露營し二日午前三時出發鎭南浦に向ひ同地に於て再び演習を爲し十二時宿舍に就き半日の休養を爲したるが鎭南浦官民は熱誠なる歡迎をなしたり一行は三日午前三時南浦出發途中箕陽大平間に於て休憩し午後十一時歸營する由百度以上の炎天の下に强行軍を爲したるも比較的良好の成績を納めたるは喜ぶべき事實なりと某將校は語り居れり（平壤）

◎二哩を一氣に

仁川商專第二回遠泳會

仁川商業專修學校にては三日午後三時より第二回遠泳大會を催したり今回は距離を延長し選拔したる生徒二十四名は汽艇に乘じて小月尾島沖赤ブイを出發點とし三班に分ち教師班長となりて折柄の滿潮に乘じ一擧猫島に向け進發する筈にて小月尾島沖猫島間は約二哩なるも昨年の經驗に徵すれば滿潮時約一時間前頭よりは潮流殆んど矢の如く隨つて遠泳容易なれば短時間に到著すべく警備其他は前回の如く盛んになし歡迎船見物船等多數定刻前より小月尾島附近に集まり居るが前景氣仲々盛なりき（仁川）

◎工事費を騙取

秋田市上肴町生れ當時大邱東門町東拓社宅第二號内居住の[illegible]にて☆[illegible]る駐工事を工事費七百六十九圓を要すと虛僞の見積設計書を作製して東拓大邱出張所に送附[illegible]取調を受けたる末大邱地方法院檢事局に腹送されたり

●連絡船上陸客

二日午前八[illegible]

池田久米吉、小川省之助、鈴木金助、同ふみ子[illegible]

◎京城中學校の水泳

二日から西氷庫でやつて居る京城中學校の水泳の樣である、始めの日なので餘り乘氣にならなかつたがそれでも去年から引續いてやつて居る上級生は中央の突堤に設けた三間位の高跳臺の上からヒラリ〱と身を躍らして水中に飛び込むそのたびに赤黑い裸體姿がよく晴れた碧空に浮くので遠方から跳めてゐるとそれが水面に躍り上る鯉魚のやうに見ゆる（二日午後西氷庫にて）

◎福岡の新疑獄

火の手擴大せん

久留米市原古賀遊廓取締明石力之助の積立金消費問題にて拘引せられしや其の餘波は惹て福岡新柳町遊廓取締池見辰次郎の取調となり各妓樓祭蕃料理屋組合長等の家宅捜索行はれ其の火の手は益々擴大せんとしつゝあるが一方又た收賄の嫌疑にて曩に警察署某の收監ありし以來巡査二名刑事一名も收監せられたり而して更に取調の進捗に伴ひ八幡警察署の某警部も二日拘引せられたり（大阪特電）

◆廿一萬圓の預金帳

▽中橋代議士一寸驚く

代議士中橋德五郎氏は二日金澤驛にて二十一萬圓記入の預金帳を遺失したるも後ち發見して同氏の手に戻れり（大阪特電）

◎赤痢續出

京城竹添町一丁目八十二番地舟越莊次（六）は八月一日疑似赤痢と診斷され京義線土城驛前粟原いね（二）は先月二十三日發病三十一日赤痢として總督府醫院へ又本町三丁目三十四番地岡田方生田龜太郎（三）蓬萊町三丁目三十五番地牧羊（四）壽町六番地大橋恒雄（五）は孰れも八月二日赤痢と診斷され入院加療中又明治町一丁目五十四番地の一號村上靜子（三）は一日腹窒扶斯として入院せり龍山榮町八番地島野義雄は（五）三日赤痢と診斷さる

◎阪神地方豪雨

農民愁眉を開く

各地とも連日旱天打續き農民は殆んど生色なかりしが二日阪神地方に少雨あり續て同夜に至り風强く夜半より豪雨ありしため農民は蘇生の思ひをなし何れも喜び合へり（大阪特電）

□八月二日温度

（午後三時京城測候所發）

華氏九十三度六分

昨日最高温度九十七度九分

●火災損害高

別報の如く二日午後十一時京城府仁義洞周旋業金河潤方より出火し朝鮮瓦葺一棟三戸二十一間中十四間燒失せり此損害は約一千二百圓尚此火災中火元金の長女福順（一）は火傷を負へり

●詐欺して豪遊

京畿始興郡北面大方里金福永（二五）は本年五月中同里李德興より土地保存證記申請手續きの依頼を受け印鑑を預かりたるより德興名義の借用證書を僞造し京城義州通二丁目李興瑞より二百圓を騙取し其の金にて自動車に妓生を同伴して豪遊し鍾路通り長春旅館に滯在中を永登浦署の刑事が乘り込みて逮捕したり

◎新券番發行

新券番の政策、百千代など發企となり今回東京より花柳芳[illegible]師（二）六郎、十郎（鳴物）の兩師匠を招き稽古中なるが來る十二日より[illegible]

海水浴潮時早見

七日滿潮午前七時五十八分

八日滿潮午前八時三十八分

灯とし頃

▲朝鮮ホテルに投宿中の國澤滿鐵理事長一行が召上る朝餐をといふので極めて振つた獻立であるが毎朝理事長久保庶務課長上田秘書役と三人食卓に就くとボーイは特別註文の西瓜を玻璃の大盤に盛上げて運んで來る▲何か邦人頭大の水瓜が瞬く隙に三人の前から消えて終ふとお代りには以前にも増した大きな西瓜が食卓上に供へられる▲傍から誰かゞお代りですかと讃ればボーイ早速の氣轉で『いや何に種類が變つた西瓜で御坐います』▲あれが皆な三人のお腹に這入つて終つたのかと驚いて見て居ると今度は甘瓜が出るとそれをシタタカに召上る扨てそれからがオートミールと外一品位で朝餐が濟む▲今度は大杯に氷で冷やされた煮沸水が茶の代りに五六杯も運ばれるから見て居たら驚かないのが無理であらう▲お腹の中に西瓜屋、氷店が始まる程シコタマ仕入れ込むと今度は炎天乾しになつて▲『少し汗拔に行からぢやあないか』と南山の絶頂登りなどの相談には久保課長も閉口したのか但し事務繁忙の爲にか御免を蒙り上田秘書のみが汗みどろで隨行役を承つた▲理事長は陶磁器の趣味があつて鑑賞にも一隻眼を具してるさうなが京城でも暇々に同趣味の上田秘書同道市中を漁る事もあらうが上田秘書は祥瑞の茶碗を手に入れかゝる逸物を朝鮮三界で手に入れたのは頗る珍だと▲大に悦に入り踏つて改めて見ると茶碗の箱書が目に入つたや手垢に黝んで居るが辯にも▲『元祿十三辰三月大石良雄貢門公より頂戴し播州赤穗華岳寺茶會に用ひし名品にて祖父が先師蕪村翁より流寶順傳せしものなり（時雨庵）』と書てある▲之を一息に讀下した上田秘書は『何だマルデ浪花節の文句だなこんなものが書いて無けりや好いのにこれが祟と祟に病んで御座るそうな▲此の水戸黄門樣、傳來の茶碗の外に仁清の蓋物を手に入れたそうであるが是は中々の上出來との御自慢斜ならず特に箱書に『頃は元祿十四年』とも何んとも書いてないさうな

●暴風雨警報

課題募集規定

◎募集規槪

▲川柳は端書又は[illegible]

商況

債券現物特電

公債直取引

米川正米特電

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎綿糸布依然不勢

一米棉二圓方の跳返

三日の大阪入電は銀價四十片八分の[illegible]

十圓以上二十圓

近か安値

人氣の浮動

無見當の狀況

◎生糸相場一服

千七百五十圓

圓の入電

◎小麥十一圓臺

十一圓を突破

先高見越し

◎對露僞換尚暗憺

◎機械油暴騰

又外油七圓五十錢

九圓五十錢

揮發油

八圓五十錢見當

◎砂糖入荷す

杜絶

内地油の移入

地に廻送

京城正米

降雨の區域狹少に

正米人氣の上

天候

晴れ時々曇り

田中合資會社

何時禁止

亂調子の狀態

逆に割高

前途尚々心配

纏東相場

人氣の影響

仁川期米

▲三日前場（不勢）大阪天候

十九圓三十二錢と

六錢安に寄付

烏合の衆

廿四錢と崩れ五錢

珍現象

支へて不勢の成行を示し

生魚市場

釜山穀物

市場零聞

▲續て不勢

仁川米豆取引所

三日の十月限

前場	
寄付	十九圓三十二錢
止め	十九圓二十五錢
高値	十九圓三十七錢
安値	十九圓二十四錢
出來高	五萬三千石

平均値段	
一節	十九圓三十五錢
二節	十九圓三十五錢
三節	十九圓三十五錢

仲買店

…郡内星州、大家、月垣の三面に於ける東拓所有水田缺潰の復舊工事に從事するに當り三百五十四圓九十三錢…前記の工事費七百六十九圓を受取り中金三百二十四圓七錢を竊取して酒色の資に供したるを星州警察署に…

海の中でも九十度

想像も及ばぬ潜航水雷艇内の生活

世間は避暑の遊山のと贅澤な事をして居るが一方わが海軍の一部は赤道下のベンガル灣にも風熱き地中海にも出動して日夜

◇辛酸を嘗めて

居るその中でも幾度か敵艦撃沈にわが武威を振つてゐる潜航艇乘組員の苦しみは一通りでないされば此の潜航艇内の夏の台所を中心とした生活を記して午譚を貪る太平樂の日曜しにもと某海軍武官の話を聴いた「千噸以上の艇になつたら定つた

◇料理室も設け

られませうが三四百噸位の艇ではとてもそんな事は出來ません食物も事ですが艇では何ほそれよりも水雷等の機械に重きを置ぎ出來るだけ多くそれらを積み込むといふ風なのです獨逸の新式潜航艇は八百噸ですがそれでさへも艇員の居る處は

◇長さ十四五尺

幅三四尺位の面積で然もその四壁天井にはいろ〳〵なものが垂ら下つてゐる、炊事用の器具はその一隅にあるのです道具と申してもテンピのやうなものと鍋をのせる瓦斯の鐵の板位のものです碇泊中は母艦から食物を持つて來て貰へるが愈出動して夕方母艦へ歸て來る位の時には各自

◇辨當を貰つて

出るこれとても汽車の辨當位の簡單なお粗末なものです、潜航艇内の炊事となると更に簡單お粗末至極なのです炊事當番は二三十名の乘組員から一二名出る船乘同士は言ふに言はれぬ温かい情でつながつてゐるので料理の比較的上手なものは進でこの

◇難事に當ります

この頃は水面では九十度より九十四五度、水中深く潜つた時でさへ八十度より九十度といふ温度でありますそれに極風通しの惡い處ですから少しでも臭いものは忽ち臭氣が擴がつて仕舞ふ魚や肉は全く喰べられません、野菜でも

◇肉でも皆罐詰

で少し手をかけるといつたらそれを鍋で煮込む位、ですから飯炊きはすべて電氣ですよ味噌汁などはたべたいなどいふ事は艇では贅澤となつてゐます水は洗面、嗽ひ、手洗ひ、炊事全部を合せて一人が一日に三升多くて四升位しか使へません困るのは浪が荒れた時です炊事は全く出來ないのでまづいビスケットや硬いパンを噛つて

◇何日でも命を

つながなければなりません、獨逸の潜航艇員が書いたものを見ると新鮮なそして甘味しい食物を欲しがつてる事はそれは非常です、全く艇内で不味い同じ物ばかりを毎日食べ續ける苦しさは陸の人の想像以外です空氣は四五寸位の穴から通はせます、天井も低く出入りもやつと身を

◇細めて通ふ位

の狹いところばかりです、機械の音油の臭ひ、沈滯した熱氣赤い電燈の光さういふものゝ相混じたなかに生活する寢るにも床などはなく床の上、荷の上、隨所にたふれて眠るのであります、數日かやうな生活を續けて居りますからいくら氣を張つてゐてもまだ丈夫な身體を持つてゐても可なりつかれてしまふのです」(大阪)

◎警官練習所員の體操

これは二日を以て終了したる警官練習所員が水泳練習を始める前に行ふ體操で、之れが一通り濟むと川の中に逃げ込んだ犯人でも追ひかけるやうに先きを爭つて水の中に飛び込んで行く(一日午後西水門にて)

昇給は下戸に限る

米國に於ける盛んなる禁酒熱

露國では夙に八億留の歳入を棒に振つて禁酒を斷行したが米國に於ても今回參戰と同時に擧國一致を以て酒精を驅逐する事となつたさうで

▽今日の禁酒 は重に宗教者側からの運動であつたが今回は會社銀行及び一般の職業者も加はり結局一億の人民を下戸に化せんとするのであるから至る處の事業には相違ないが著々成効の曙光を認めつゝあると米國の紐育人は語つた、其説に依ると此國の禁酒の原因は言ふ迄もなく戰爭と食料問題から起つたもので既に

▽禁酒實行の 州は四十八州の中メーン、カンサス、ゼオルジア、モンタナ、インヂアナ、ネブラスカ、ミシガン、ワシントン等の十五州に及び十州は只今準備中で殘りの諸州も順次斷行する順序になつて居る尤も米國は露國の如く中央政府の命令を各州に強ゐる譯には行かぬ故禁酒であるから

▽全國一度に 斷行する事は困難であるが何分今回の禁酒熱は非常なる意氣込みで平生コンナ事には進むで反抗するハースト一派の紙さへも盛に禁酒論を唱へ紐育市街電鐵では使用人の飲酒家は禁酒の宣誓を爲さぬ限り解雇する事となりカーネギーの配下なる製鐵所では昇給は下戸の者に限りハーバート大學では卒業宴會に

▽一切酒盃を遠ざけ既に禁酒したる諸州では末禁酒せざる諸州へ酒類の輸送は勿論酒の廣告を出す事すらも法律を以て固く禁じ又違反者の處罰も從來に比すると大變重くなつた要するに今後渡米する者はホテルでもレストーランでも又サロンでも清涼飲料水以外酒精類は一滴も口にする事が出來なくなるのだ(大阪)

一日三百六十八人

宿泊客がある平壤の宿屋 めつきり增した旅館のお客

やれセメント會社だ製糖會社だ砲兵工廠が出來る架橋工事が初まると昨今平壤の人氣の沸騰しとること誠に以て素晴らしいものだが、斯樣に人氣が引立つてくると何れ影響を受けぬ商賣はないが先づ第一番にお利益を受けたのは平壤の旅館であるが此屋あたりでは今春早々裏座敷を新築したが夫れでも千客萬來で常にお客が滿員だ其他の旅館松岡三根博養館梅屋中村の一二流處に至りても均しく宿泊客は多い今其のお客の昨年一月より六月迄と本年一月より六月迄との比例を見ると何により一ヶ年早や昨りがする五年上半期の宿泊客は總計で一萬九千一百七十六人である本年上半期は六萬五千七百四十三人の宿泊客で昨年より四萬六千五百六十七人の增加である更に一日平均の比を見ると本年度は一日平均三百六十三人となり昨年度一日平均一〇六人と比して二五七人の增加となる之を以て見ても平壤が如何に今日日進月步の勢ひで大發展を遂げつゝあるかと窺はれる(平壤)

渚の砂

●雷公の大暴れ 岐阜縣一圓に渡つて二十六日大雷雨あり住家四棟に落雷のため全燒し即死二名重傷一[illegible]感電して人事不省に陷つたものが[illegible]名外に[illegible]即死一頭[illegible]の樹木の破壞されたものが無數であると[illegible]

●[illegible]に醉ひ [illegible]

●姉弟三名 [illegible]三女おか(二三)は[illegible]不具の[illegible]悲觀し之れ[illegible](七つ)に[illegible]二十五日夜[illegible]に投身

●富士の富士登山 大阪市[illegible]生れの[illegible]友吉(五九)は四十二の時に[illegible]高野山や駒ヶ嶽に登つた[illegible]者で今年は富士登山を企て三十六日朝水垢離をして衣裝を改め四日目には絶頂に達する[illegible]

●[illegible] 宮崎縣[illegible]

●[illegible] [illegible]郡[illegible]で飲酒[illegible]

●臺中の暴風雨 臺灣花蓮港廳管下に二十七日暴風雨が襲來し鐵道電信の被害甚しく浸水家屋六十戸に達し避難救護したものが三百名以上に達した

●家鴨四千羽 [illegible]中匪下一帶では昨今鐵甲虫といふ害虫の爲め稻作が全滅されかけてゐるので生産家は四千羽の家鴨を稻田に放つて驅除する事中で既に三百羽を使つてゐるさうな

●海軍大尉割腹 宮崎縣[illegible]は二十五日香川縣高松市に行き[illegible]部長を訪問し自殺を企てたが止められ二十八日又も[illegible]で割腹せんとしてゐる所を[illegible]取り鎭められたが何でも發狂したものであらうと

●娘の丸坊主 遠州濱松市淺田コール天工場の女工松島しづ(一四)は二十七日機械に油を差して居る内誤つて革に捲き込まれ髪の毛一本殘らず捲き取られたが生命は助かつた

●物騷な喧嘩 伊豫松山市生れの左官職人能智久吉(四八)は二十八日夜神戸須磨の海岸で職人仲間の者と金錢に關した紛れに金藏の[illegible]に咬みつき[illegible]一個を咬み切いたとは珍しい狼藉者、金藏は生命危篤だそうな

◎仁川海水浴場設備費寄附 仁川海水浴場設備費寄附者人名左の如し ▲金二十圓河野竹之助▲同十圓白神壽一▲同十五圓鈴木茂三郎▲同十圓井上藤吉▲同十圓松本服店▲同十圓吉倉喜三郎▲同十圓野口文一▲同五圓八木與一▲同五圓北盛社支店▲同十圓安保富藏▲同五圓田中作二▲同五圓千島北宗支店▲同五圓淺井益三▲同十圓高木助市▲同十圓北島登三▲同五圓[illegible]

□富士山の絶頂より 富士山の絶頂にて遙かに貴社の御隆盛を祈り萬歳を三唱す(三日午前六時二十分富士山頂にて[illegible]登山隊)

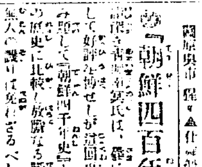
▲同五圓[illegible]▲同十圓[illegible]▲同二十圓[illegible]▲同十圓[illegible]銀行支店[illegible]▲同五圓[illegible]

●囚徒の病死 全南羅州生れ徐成官(?)は去る大正四年八月強盜罪に依り懲役七年六月に處せられ光州監獄に服役中の處先頃急性腸カタル及び[illegible]にて刑の執行不可能となりたれば檢事より刑の執行を停止し假出獄の上歸郷療養せしむる事となり生れ故郷へ還せしむる途中保護者に於て保護中廿二日を以て遂に死亡したりと

●喜多流素謡會 明四日午後六時より[illegible]呉服店樓上に於て喜多流の素謡會あるべしその番組左の如し [illegible]

●『朝鮮四百年史』 朝鮮史に造詣深き青柳南冥氏は、嚢に李朝五百年史を編述して好評を博せしが這回更に大膽なる著述を試み題して『朝鮮四千年史』といふ、因て世の學者の歴史に比較し放膽なる斷定に失する嫌ひ倣若無人の譏りは免れざるべし然れども(中略)余の[illegible]史は世の學者歴史家に一歩も讓るものに非ずと以て著者の意氣を窺ふに足るべし同書は京城本町二丁目朝鮮研究會出版部より發行すべく定價二圓五十錢なりと

◎山口呉服店の大割引 京城本町二丁目山口呉服店は營業開始以來廿有餘年間の履歴ある老舗なるが店主山下園平氏は今回經濟界の趨勢に鑑み有力なる他の事業に轉ずる爲め來る八月三日より商品全部何品に不限見切値段三分の一位の破天荒の割引を以て賣盡決行の由なるが昨今節柄盛況を呈するならん



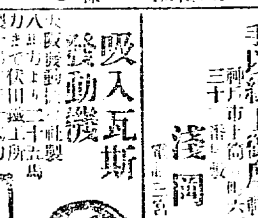
▲甘酒の造り方 御飯のたきたてと、よくもみほごした麹とを一緒におきにしこれを瓶の中へ入れ湯氣のもれぬやうに蓋をしつかりとして置くと四五日もたてば硬造りの甘酒が出來ますこれを用ふるときには湯にてよきほどにのばし、砂糖をほんの少し入れ加減いたします。尚もつと輕便な方法は甘酒の一夜造りと申して先づ麹をよくもみほごし微温湯をかけて少し濕らせ炊きたての御飯を少しさましてまぜ又火にかけてよくかきまぜながら炭火にて充分に通つたところで鍋をおろし微温くなるまで掻きまはしながらさまし瓶又は桶に入れてよく均らし蓋をよくして一晩ほど置くと甘味がつきます米と麹との割合は米三四合につき麹一枚くらゐで結構です御飯は普通粳米を用ひますが糯米を用ふると甘味が殊に多くなります

豫報 (三日[illegible]) ▲天氣[illegible]▲示度七百四十六粍▲方向北東▲飛區域江原道以南北道沿岸

商業登記公告
商號 淺昌商會 營業所 京城府公平洞七拾壹番地 營業ノ種類 毛物販賣 商號使用者ノ氏名住所 同所 趙鼎漢 右大正六年七月參拾壹日登記
株式會社第一銀行取締役佐々木勇之助、三井八郎次郎、熊谷辰太郎、日下義雄、徳川慶久及監査役土岐僙、尾高次郎八各任期滿了ノ處大正六年七月拾四日重任シタリ
北野竹次郎八任期滿了ノ處重任シ且株式會社京城葬儀社監査役小野萬一大正六年七月貳拾壹日重任シタリ
同太郎監査役ニ當選就任シタリ 右大正六年八月壹日登記
朝鮮畜産株式會社取締役主總竹ノ內義ニ依リ解散シ拾日取締役織[illegible]加一販東[illegible]就任シタリ 右大正六年八月貳日登記
京城地方法院

私家族一同去る一日歸國の爲南大門驛出發の際は暑中の折柄態々御見送を辱ふし難有奉謝候一々御挨拶可申上の處年後手以紙上御厚禮申上候
神戸市下山手通六丁目三十一 淺岡重喜

吸入瓦斯發動機 大阪發動機[illegible] 八馬力より[illegible] 製[illegible] 各一[illegible] 佐賀市唐人町 丸三商會



各地支部長募集 萬人必讀各種良書の文明的販賣法優獎勵法あり詳細郵券三錢封入規則請求あれ。一事業として大の收入と[illegible] (資本金一百萬圓) 東京下谷西町 帝國教育學會

胃腸最新藥 ヂゲスチン
日本藥局方 十三ヶ國專賣特許 胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎説明書送呈 東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商廳

天下一品 白鶴 増本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇[illegible]

外交員至急募集 日鮮人五十名限り 月收四十圓以上確實 希望者は自筆履歴書携帶御來談相成度候 平壤壽町中村旅館内 東京勸業株式會社員 山田 造

八月號 文藝俱樂部 一粒選の好讀物を滿載せる三大雜誌 東京本町 博文館

小説 嫁にゆく(?)[illegible] 魂の[illegible] 旬樂の手紙 五色の鬼 [illegible] 定價金廿八錢

生活 [illegible] 金二十錢

文章世界 評論 現狀論[illegible] 破談 相馬泰三 鱷さんの死 [illegible] 球 素木しづ 小品四題 [illegible] 定價金廿五錢

暑さ知らずの大黄金館
新派事實連鎖劇 大阪城お濠の悲劇
米國パテー會社作連續大寫眞 奇々怪々魔? 人? 護る影 自第一篇至第二篇
天活會社東洋權利附として誇るべき大寫眞たる事を告白す
先月二十七日上場以來多大の御同情を以て初日より溢るゝばかりの大盛況を呈し殊に終日の八月一日二日共滿員に付特に今三日迄日延仕候間御見落しなく御觀覽被下度候

次女富佐子豫て病氣之處養生相叶ず死去致候に付此段謹告仕候 追て葬儀は明四日午後三時自宅出棺旭町三丁目護國寺に於て執行仕候
父 二宮常一 親戚總代 高岡憲一 友人總代 江口虎次郎

父百太郎儀豫て病氣の處療養不相叶本月二日午後一時郷里に於て死去致候間此段謹告仕候
八月三日 安住時太郎

◎本機械の特長 在來の[illegible]はローラー及シヤフトを共に一個の台製にて取扱[illegible]不經濟なりし[illegible]他式に[illegible]ローラーのみを取替へ[illegible]機械の[illegible]一ヶ年の[illegible]本機[illegible]御一報次第説明書[illegible]
朝鮮一手販賣元 釜山本町一丁目 中島機械商會 電話特長九九〇番

宇治茶直接販賣 中元の御贈答には[illegible]

明君道中記

第二百卅四回　田邊南龍口演

港町の錦旗半兵衛は至つて心意の良くないもので、中井屋の娘おゆきを己れの許に留置いて妾に爲やうと思つた處、猩々長吉に拔はれ據なく引渡したものゝ、昔時の上りを半ば吳れるといふ約束であるから、子分の者に吩咐けて取りに遣ると、長吉は約束通り上り高の半ばを割いて[illegible]すくれる故、喜んで居りますと、[illegible]の子分共は大勢寄つて[illegible]『のう兄弟、猩々の親分は當時[illegible]の貫出しだけあつて大した人だの[illegible]『然うとも／＼俺達が使に行く[illegible]に吃度小遣を吳れる、あの氣性だから若いけれども貫出したのだ○何時途中で遇つても吃度小遣を吳れる。それに引換へ家の親分は酷いぢやアねえか△入道ひが荒くつて錢遣いは細い、宛然俺達を小僧扱ひにして居る○長吉親分は好い男だが、家の親分の面は隨分醜い面だな△然うよ、何のことは無ねえ、鼬が屁を掛けた樣な面だ』と云つて居る處へ何時の間にか歸つて來て聞いて居た錦旗半兵衛ガラリと障子を開けて入つて來た子分は驚いて○オヤ親分お歸りですか　半『俺の家へ俺が歸つて來たに誰が何といふ○誰も何とも云やアしません　半『八釜敷此奴等、能くも俺の事を惡く云やアがつたな、何に俺の面が鼬が屁をひつたやうだと○什麼ことは云やアしません　半『云はねえことは無ねえ次で俺が聞いて居たのだ、それ程長吉が宜けれは其處へ行け○何うぞ御勘辨なすつておくんなせえ　半『長吉の子分になれば汝達も本望だらうから出て行け』子分も[illegible]いと思つて詫入た處強てと云ふから[illegible]

[illegible]ました、長吉は是れを見て　長『イヤお前さん方は大層揃つて來なされたが、何か用かね○他でもありません何うぞ今日から貴下の子分にして頂きたい　長『藪から棒に子分にしてくれと云つても承知は出來ねえ、お前方には錦旗といふ立派な親分があるぢやアねえか○其の親分の手を切つて參りましたので　長『何で親分子分の緣を切つた○實は是々云々でございます』と前申上げた事柄を一々述べましたから　長『そいつはお前達が宜くない、例へ影言にしろ親分を惡くて云つては濟ねえ、俺が是から出向いて詫をして遣らう』と長吉は支度をして港町の錦旗の家へ參り半兵衛に會つて　長『錦旗の親分今此方の子分衆が俺ン所へ來て話したが、何か親分の氣に逆らつたさうで皆追出されたといふことだが、若い者のこと故前後の考がへもなく何を云つたか知りませんがそれは水に流して此の長吉に免じて勘辨をして遣つて下さい　半『オイ／＼默つて聞いて居りやア法すも無ねことを云ひなさんな、何だ俺の面に免じて、お前は何の[illegible]面だ　長『然う云はれちやア一言も無ねが俺の云ひ分が過ぎたかは知らないが何うか免してやつておくんなせえ　半『打捨つて置け、氣に叶らぬいから彼奴等は追拂つたのだ、何もお前[illegible]には及ばねえ[illegible]マア暫く待つておくんなせえ』

八月五日　日
舊六月十八日　己卯　本命六白　乾　成　大安
[illegible]

內科　小兒科
院長　醫學士　森定吉
芙蓉醫院
京城本町一丁目　瓦斯會社向側　電話二六二三番

●全治して再び顔貌が山の如く隆起す
あざ　そばかす　ほくろ　イレズミ
拾錢ばハチに代ゐ今なをせ　醫學界に名譽有特許第一等醫學博士先生が數年間苦心研究の結果藥をつけた處が人に知れずに決して跡なく不思議にヨクキク信用と責任ある藥を御見致しまして是迄種々な法々や藥で治療しても効無お困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府下淀橋町柏木百二十番地東京醫學研究院」宛にて申込めば無料で安全に治療の出來る自宅療法の本を無代で送ります

土藏お預り保管安全
まちや
勸業債券　貯蓄債券　賣買入
明治町二丁目八十七番地　支那領事館前通
有賀店
ぶ別「鋪に預る

演藝案內

日本活動寫眞株式會社特約代理店
櫻井町　電話八七三　大正館
○大冒險大活劇『ヘレンの冒險記』
○新派大悲劇『俠盜者』
○滑稽活劇『亂暴者』
[illegible]

有樂館
△八月二日より
坊納帳の卷
『大金鑛』
『母の心』
[illegible]

京城壽町　電話五七八番　壽座
キネオラマ應用悲喜劇鬼笑會一行
△八月四日より特別公演
△一番目　喜劇　家族會　一幕
△二番目　悲劇　朝日丸　三場
△三番目　喜劇　神經情話　二場
△四番目　トランクー　二場
△入場料特等七十錢一等五十錢二等卅錢

本町一丁目　電話二六三七　黃金館
○八月四日より全部差替
○新派悲劇『戀衣』
○新派正喜劇『野飾村』
○活劇『梶原右衞門』
[illegible]

明治町　電話二六〇六　浪花館
東京落語雷門助六一行
△落語　△音曲手踊　△名物踊　△落語
△入場料一等金三十五錢二等金廿五錢三等金[illegible]

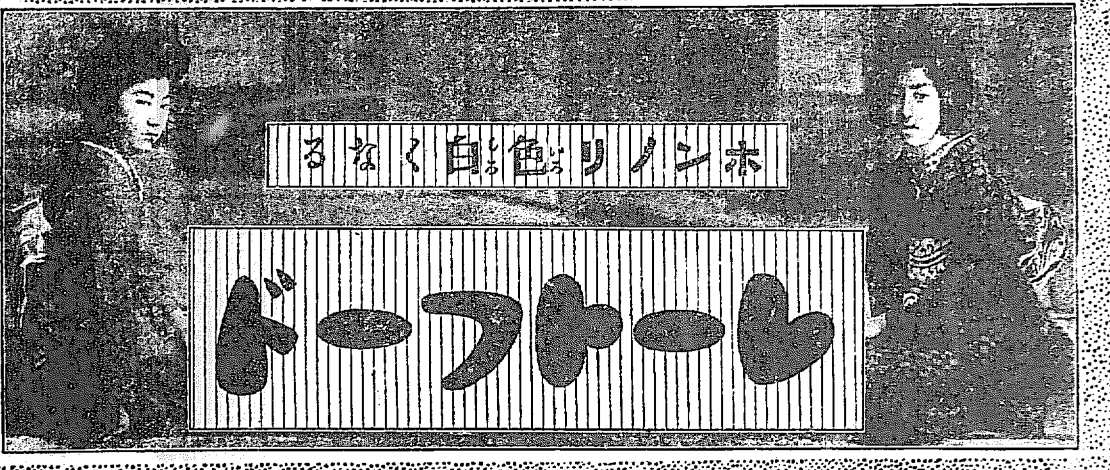
御旅行用　靴と鞄
東洋一　新形流行の魁
內田式ストロング靴は堅牢優美、保對一簡年保證す
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋
電話新一五五一、振替一八〇一七

男のひみつ病
內外國醫科大學御採納東京順天堂病院始め博士學士の實驗證明と全快禮狀山の如く全國發明品投票に最高の優等に當選せる專賣特許手島式眞空療法器は自宅にて何人にも簡單に有効を治療法のかねて行ひ生殖器の短小、萎縮、能力の諸障害、陰萎、早漏、花柳病等を速に全治し全國無代送呈す
無病の人も試よ
東京市京橋區木挽町三ノ二五　新療法研究所
大阪市北區北森町一番地　新療法研究所

醇良無比清酒

衛生無害　品質無類
醸造元　合名會社首藤
發賣元　首藤京城支店
首藤釜山支店
長電話二三四三番

［入院隨意］
田中丸病院
院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
京城南大門通二丁目（商業會議所前）
電話八八五番



愛用者の評判

不思議なほど素顔が美くしくなる

お肌が清爽して日焼けが防げる

◎肌が滑泡と日焼けせぬ事
レートフードを附けた時、最初ヌルつくやうな氣持が致しますが暫く掌で摩擦して居ると直ぐ滑かになり、何とも云へぬ程サラリとよい氣持になります。そして毛穴迄も開いて、顔の色艶がよくなつた上、少しも日焼けが致しませんから附けて終日涼しう厶います。

◎ホンノリ色白くなる事
ほんとにレートフードの作用は不思議といふの外なく、附けて清爽する上、ホンノリ色の白くなる具合が頗る自然で態とらしくなく、地からの白さに見ねて上品で厶いますから夏の素化粧としてこの上なく、歴化粧として男にも女にも、實に天下一品で厶います。

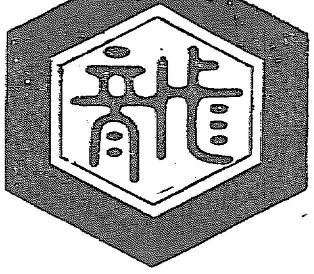
◎暑さ知らずのお化粧の事
レートフードは特種なプレパーレーミヨンスが配合つてある爲め、其強い精分が氣持を輕くし、附ける程目に見ねてズン／＼素顔を美しくしますから、この汗や脂肪の滲むで來る季節に、朝夕使つて居れば、終日涼しく美くしく、暑さ知らずに居る事が出來ます。

◎家庭化粧として徳用な事
日用家庭化粧品は、日常使ふ上から、經濟的でなければなりません。レートフードは、日用家庭化粧料として此上もないものだけあつてお徳用に使へるやう、其價格がお安うして厶いますから日常家庭化粧料として、これ以上の美容料は實に他には厶いません。

レート化粧料本舖
東京　平尾贊平

夏の衞生には仁丹が第一等

品質第一
誠實第一
賣行第一



キッコーマン
最上醬油
醸造元　仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

桟橋船車聯絡

京城日報

第三版

鮮鐵沿革史略（上）

朝鮮開發に致したる貢獻

帝國の大陸經營今や局面を展開し、新時代に於ける新政策の確立を見る。鮮滿鐵道統一の事、吾人が多年の理想、茲に實現し、邦家の爲、以て大に慶す可し。遮莫朝鮮鐵道の經營、委任せられ滿鐵の手に移るに際し、顧みて感慨多からむや。抑も朝鮮鐵道の今日ある、其沿革を辿れば、洵に記念すべきの事多し。夫れ鐵道の建設、事は單純なるが如く、然かも其創始の困難は尋常人の思ひ及ばざる所。天然に對して戰を挑み、而して之を征服し、鐵路初めて通ずる迄の、建設者の苦辛艱難は、之を彰表するに餘あり。彼れは文明の先驅者たり、彼れの事業は英雄的事業、勇敢なる男性的事業也。建設者の進み行く所、高山なし、巨川なし。苟くも遮ぎるもの、之を排せずんば已まず。人類の爲めに或は死も辭す可らず、病も避く可らず。人類の福祉の爲め、彼等は甘じて困苦と鬪ひ犠牲を拂へり。然かも彼等は自から永遠不朽の記念碑を建設せり。記念碑とは即ち數條の鐵軌之れ也。朝鮮鐵道の建設及び之が經營に就て、今日制度變更の時に當り、聊か茲に記述せんとするもの、亦以て其當初より今日に至る當事者の奮勵努力に對し、吾人深厚なる感謝の情を寄せむと欲する微意に外ならざる也。

▲滿鮮鐵道の統一

朝鮮鐵道と南滿洲鐵道との併合統一は鮮鐵の經營を滿鐵に委託するてう形式の下に八月一日より實施の事となりたり。之れ吾が帝國の大陸對策上重要にして頗る意義ある施設と云ふべく、其の內容若くば順序に於て假令幾ばくか異論の起るべき點なきに非ずとするも、其の鮮滿鐵道併合統一の根本精神に至つては、恐らく何人と雖も又之れを如何なる點より觀るも殆んど一點非議を容るゝの餘なかるべし。此の鮮鐵經營上の一新期に際し其の創業時代より今日に至る歷史の概要を回顧し、新に出發を切らんとする鮮鐵の現狀を說くも必らずしも徒爾ならざるべし。

▲敷設權獲得

朝鮮半島に於ける鐵道は我國民の手に試みたる鐵道經營の第一歩にして其の敷設の淵源は遠く日韓暫定合同條款に在り。蓋し當時の韓國は積弊の後を受け邊疆未だ寧からず、內政の刷新に交通の整備に而して又人文の開發に施設の急を要するもの舉げて數ふ可からず、就中鐵道の建設は其の最も急務とする所なりしが、韓國政府の財源は涸渇して到底自ら之れが經營に膺るの力なく、寧ろ其の資金を外國に仰ぐか、他に籍藉を遺すの虞れありしかば、帝國政府は自ら韓國政府に代りて鐵道敷設の計畫をなすを以て、時局救拯に必要なりと認め、明治二十七年八月內政改革に關する條款を締結するに際し、先づ京仁京釜兩鐵道を敷設するの權利を認めしめたり、之れ所謂日韓暫定合同條款なり、唯本條款締結の際は恰も日淸戰役開始匆々の際なりしかば細目の協定は之れを他日に讓れり

▲京仁鐵道敷設

然るに後日此の條款により鐵道敷設に關する實行方法を決定せんとするに當り、歐米各國公使の容喙しく異議を唱ふるあり、事態頗る紛糾して交涉漸く困難を加へ、其間に於て京城仁川間を空過せしかば、其鐵道敷設權は逸早くも米國人モールス氏の獲得する所となりたり、唯京釜鐵道は日韓暫定條款を基礎として其の權利を獲得せしも、然も之れ新たなる特許を獲ると殆んど擇ぶ所なき交涉と困難を經たるなり、後米人モールス氏は京仁鐵道敷設の工事に着手せしも其の本國に於ける資金の調達意の如くならず、遂に君が小村外務次官並に澁澤榮一氏等を通して、吾國に其の權利を讓渡したき希望を洩せしを以て、結局吾が京阪有力實業家澁澤、岩崎、中上川、松本氏等の十六名を以て組織せる京仁鐵道引受組合に讓渡したり、而して此の引受組合の後身たる京仁鐵道株式會社は明治三十二年九月京仁間の一部仁川鷺梁津間二十哩の工を竣り同月十八日を以て其の營業を開始せり、之れ朝鮮に於ける鐵道營業の嚆矢にして翌年七月京仁線の全通を見たるが、當時一日の乘客平均は三百五十六人、一日一哩收入七圓餘に相當せり

前鐵道局長官　大屋權平氏

鮮滿經濟統一の理想

邦家の爲慶す、其實現を

朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉氏談

◈素地は既に培はれし也

滿鮮の統一は、我國上下多年の希望にして、其の事の當否は、既に議論の問題に非ず [illegible] 一定の理想の下に [illegible]

朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉氏

兩地に統一せる政策を立て、その經濟の進步を計るは、是れ又、何人と雖も、吾人の最も希望する所なる可し。滿洲と言ひ、朝鮮と言ふも、其の實、交通の點より觀察すれば、既に融合して一體をなし、朝鮮人の滿洲に移住せるもの、既に數十萬に及び、商品の如きもその輸出と時とによりては、內地より直接滿洲に輸送して、陸路滿洲を經るを以て便利とするものあるに至る。斯くの如く、滿鮮の經濟的統一は、其素地既に充分に培はれたるものにして、若し一旦、吾人が鐵道の開通を見るが如きに至らば、滿鮮の境域は、撤廢せられたる經濟上より觀察して、國境に非ざるを信ず。

◈鮮銀は滿鮮の經濟統一に盡せり

滿鮮兩地の如きに係はらず、從來、或は對支外交上の事情、或は滿鮮兩地に於ける行政組織の形式等、諸般の支障に制せらるゝあり、永く統一の實現を見ざりしは、頗る遺憾とする所ならずんばあらず。然るに、今回、機熟し、滿鮮鐵道統一の事成るは、邦家の爲め慶賀に堪へざるところにして、吾人、親しく滿鮮の發展に寄與す可く努力しつゝある者に於て、特に此感深かりしとす。今回の官制改革は、滿鮮統一の理想の一端を實現せるものにして、必ずしも其の全部を盡くせりとは言ひ難きも、從來に比し、一步を躍進せるものとして大に歡迎せざるべからざるにあらず。

朝鮮銀行は、是より先き、既に政府の同意を得て、種々施設經策するところあり、微力及ばずと雖も、金融上に於ける滿鮮の統一を以て理想の一端とし、諸般其所期に向つて成果を舉げ、若くは舉げつゝありと信ず。彼の朝鮮銀行が滿洲に於ける活動に力を致すは、或は其朝鮮に於ける努力を減殺する所以に非ずやとの一部論者の憂慮の如きは、蓋し、全然杞人の憂にして、事實は、各相俟つて兩地に於ける鮮銀の事業は、滿鮮兩地に跨りて業績を舉げ、特に滿鮮に涉る事業を經營しつゝある實業家に對しては至大の便益を與へつゝあり。此の一事に就いて見るも、滿鮮の統一は、少くとも、經濟上に於て可能にして、吾人にとりて、また頗る自然なるの理を發見せずんばあらず。滿洲の經濟は、吾人にとりて、生地に初めて鐵を入るゝの類のものに非ず。前述の如く朝鮮銀行の施設が滿洲に於て、何等の障害に遭遇せざるは、滿鮮統一のことが、水、既に有るに、渠を通ずるが如きものなるを示す所以にして、已に一步を飛躍せる吾人は、更に二步、三步の飛躍を他日に期せざる可からず。

◈日支人須らく和融提携せよ

而して、玆に、一言せざる可からざるは、今回の改制に對する支那人の所見之れ也。支那人は動もすれば、滿洲に於ける邦人の施設を以て、侵略的の意圖あるものと解釋せんとし、今回の改制に對しても、また此の傾なきを保せず。是れ實に、誤解に出でたるものにして、支那人のために悲むべき誤解と云はざるべからず。苟も經濟上の統一を計る上に於て、軍事上、政治上の組織變更と異なり、何等他意あるの揣摩を要す可からざるなり。特に、鐵道の統一の如き、大に沿線地方人の利益を計るの意に出でたる計畫に就いて、徒らに臆測を逞しくするは、決して彼等のために取らざると共に、加ふるに當る邦人も亦、此點に留意し、方人と融和提携し、事業の實績を揚げ、新制の効果の發揮に努力するを期す可き也。

滿鮮鐵道の統一

京城黃金町一丁目
三井物產株式會社京城支店
電話二六、七二四、一一一九番

滿鮮鐵道の統一

京城電氣株式會社

滿鮮鐵道の統一

(京)
京城運輸組合
同

滿鮮鐵道の統一

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭特約販賣所

京城　三國商會
電話 商會用 長九〇〇・三二〇番
西大門貯炭場 一八〇九番
龍山滿鐵貯炭場 一二〇三番
振替 座京城 一二〇六番

平壤 代理店　平松商店　電話長一六一番

京城　西村商會　電話九二〇番

元山 代理店　小泉商店　電話四五一番

二十錢（朝日刊）

▲三… 二圓… 錢の入… 十錢より…

…五錢東京二十… 前後場三… 中十九圓… 二錢高值…

止(め)九錢と高移りに買物潮く多く… 返し十錢丁度と大崩れ 大衆氣運に不勢の … して散會

丶下押す

商勢不勢の機先なるも大阪高と頭上付きたるが各店より十九圓三十錢と寄付きたるも七錢と跳ね返し … 向の大に …

▲逆鞘益大なり

… けて氣運の … 投げを誘致し … を呈した … 不知今後の趨勢如何 … に下鞘となり大阪又逆鞘を呈するに至り今後場三節臨時入電にては二十四錢下鞘となれば當地又當止十錢下鞘なるも中先は …

▲大阪の成行

… 前場に大盛況を呈した … により各店の手振り取調べの餘地なかりし … 新甫寄合二十二圓九十一錢より七十一錢と押し更に九十九錢と返したる … 後場に …

▲後場當限⊖十九圓四十七錢八錢九錢五十錢一錢平均值段五十錢⊜四十五錢⊜三十錢四十錢三十五四十錢平均值段九千九百五十石 ▲先限廿九圓三十錢一錢一錢二錢三錢四錢三錢二錢 四錢五錢六錢七錢六錢⊜三十五錢六錢五錢四錢三錢二錢一錢三錢

後場 寄付	十九圓三十一錢
止メ	十九圓三十錢
高値	十九圓三十七錢
安値	十九圓二十五錢

八月限　一萬七千三百五十石
九月限　三萬六千五十石
十月限　一萬六千百石

○沿岸貿易許可案提出

米國政府は大統領ウイルソン氏の要求に依り戰爭繼續中公益上必要の場合一定の制限及び條件の下に外國船に沿岸貿易を許可し得るの決議案を三十一日議會に提出したり(華盛頓電報)

○米禁酒修正諮問決議

米國上院は二十票に對する六十五票を以て米國憲法に禁酒令修正を加ふるの件を各州に諮問するを可とする決議案を通過したり(華盛頓電報)

○英軍敵塹壕を粉碎す

英軍はイープル方面に大規模の進出を企て二哩方面を恢復したり英軍の砲擊は猛烈を極め獨軍の塹壕を粉碎せり之に對する獨軍は皇太子殿下の第四軍にて少年兵の多數其中に編入せられたり(倫敦電報)

○宣戰問題決定

馮總統代理承認を與ふ

二日臨時閣議にて宣戰問題を決定し總統代理馮國璋氏は承認を與へたるが右手續き終了次第直に獨墺兩國に對し宣戰の通告を發すべし(北京特電)

○馮保釋と廿八師不穩

馮麟閣氏愈々保釋せられ二十八師の態度不穩なるより中村軍は附近に出兵して嚴重に戒中なり(同上特電)

○遺族へ賜金

先般北海にて戰死せる汽渡海軍大佐の遺族に對し金四千圓の特別賜金ありたり(東京特電)

◉滿鐵の鮮鐵經營收益幾千

本年は約二百萬圓か

南滿鐵道會社に於て鮮鐵の經營をなし結局其の決算に際し幾干の利益を舉ぐるに至るかは興味ある問題にして此點に關し目下加藤經理課長の手にて其の收支調査を行なひつゝあり近く一部の公表を見るべしとの事なれども之を大體より觀察して如何なる計算となるやと云ふに鮮鐵の經營に隨へば大正六年度の純益推定は百六十七萬圓を計上され居れるは朝鮮財界の發展膨脹に伴ふ鮮鐵の貨客の增加は著しきものあり逐月貨物收入は收入豫算を超過し目下の狀態を以て推移せば恐らく本年の收入豫算超過は百萬圓を超ゆ三百六十萬圓の純益を收むる事となるべし今假りに滿鐵が去る四月一日より鮮鐵の經營を實行する事となり居るとなし支出も鮮鐵豫算同樣に執行するものとせば前述の收益が△鐵道統一契約調書に現はれ居る總督府の對鮮鐵支出額五千一百十萬圓に對し如何なる割合を示すやと云ふに乃ち約百分の六に相當し契約に現はれたる通り其の三百六十萬は全部滿鐵の收益に屬すと見るを得べし然し乍ら實際の鮮鐵經營は七月三十一日よりとなり居るに付其の收益は約二百萬圓位となる計算なり

△臨今後用ふべき局用品は諸物價暴騰の結果昨年鮮鐵の豫算編成當時とは大いに事情を異にせるものあり殊に石炭の如き鮮鐵は先年安價にて供給を契約せし事とて今日も安東縣渡し撫順炭一噸四圓四十錢內外にて使用しつゝあるも今後は△滿鐵の社用品となりしたる場合滿鐵の社用値噸五圓五十錢位に引上げらるゝに非ずやと思はるゝ節もあるが如く之等の計算に於て異動を來さば其の收益も從つて變じ來る譯なり

〈噸扱標準如何 從來朝鮮鐵道扱ひ貨物の噸の單位は帝國所定の度量衡法に從ひ一千六百九十斤を以てし居れるが滿鐵は米噸により一千五百十二斤を以て一噸とし同じく一噸と云へども滿鐵の噸は鮮鐵に比し百八十斤餘少量なるが此の間の差は近く運輸系統一上當然改正さるべく若し滿鐵所定の噸に從へば朝鮮荷主は其の運賃を幾分引下げられざれば不利を來し反對に舊鮮鐵の噸によらんか滿鐵の運賃を引上げざる限り其の運輸收入の減となるべし此間の改正は利害少からずとて注目する者多し

◉觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○世の中に鑑定家あり、又た鑑定家の信徒あり。されど如何なる鑑定家も、神樣にはあらざる也。況んや利害其外を制し、好惡其內を牽くに於てをや。所謂る當るも鑑定也、當らぬも鑑定也。

○米國紐育の金滿家ハンチントンは、倫敦の或る骨董商より、名工ロムネーの作として、姉妹二美人の肖像畫を二十萬圓にて購へり。然るに不代金取戻の大訴訟は、提起せられたり。對審七日間の後、偶然にも該畫の下圖見出され、此にて愈よ此畫が、ロムネーの作にあらずして、ハムプレーの作たると明白となれり。

○此に於て骨董商も、快く代金及び利金等を償却し、該畫像は改めて英國の國民肖像畫館に、寄附を申出でたり。彼は他を欺きたるにあらず、自から欺かれたる也。

○話は此迄なれども、元來此作は、現時英國鑑定の權威サー、ウイリアム、リッチモンドを始め、歷々の大家が、異口同音に、ロムネーならでは、とても此程の名畫は描けぬものと、折紙附たりし也。果して然らば、鑑定家の目の玉も、時としては、餘りに當てにはならぬ也。

○尙ほ又た先年―明治四十一年の頃と覺ゆ―伯林のボデ博士が、英國より伊太利中世の名匠レオナルドオの作として、カイゼル、フレドリヒ博物館に購入したる半身像は。正しく英國近代のリチャード、ルーカスの作たると暴露し。英國の新聞は、筆を揃へて、其の錯誤を冷笑したり。然るに普國の上院は、其の證跡の評ふ可からざるに拘らず、倚ほ是れレオナルドオの作として、多數を以て確認したり。恐らくは是れ愛國心的負け惜みたる可き歟。鑑定と愛國心の接觸も、亦た妙ならずや。

○亡友久保田米僊翁は、曾て某富豪の家に、書畫拜見に出掛けたるに、最初に顏眞卿の書きたる、東坡の赤壁賦を出され、此にて元氣索然となれりと語れり。斯る例は今日に於ても、隨分少からざる可し。

●華富銀行休業

馮麟閣氏の關係せる奉天華富銀行が俄かに休業 [illegible] 軍に依つ [illegible] 督軍 [illegible] 力命令あり一日午前部 [illegible] せしめたる

●江原道の風穴

內部の氣温は三十五度 [illegible]

十五間位にして附近は峻峭なる岩石より成り樹木繁茂し外部の氣温は攝 [illegible]

慶南東萊郡沙面里鷄卵商洪在旭(三七)方同居日稼き周炳植(二八)は本年六月方濟成柄は金義富を釜山に同行する [illegible] なる妹の家に隱すことゝなりしが一 [illegible]

●腦病から投身

愛媛縣越智郡今治町生れ釜山土城町一丁目理髮中 [illegible] 若次郎方 [illegible] の海岸に至るや突然妻の隙を窺ひて水中に飛び入りしが折柄通り懸りし附近の大工職吉崎多次郎に救ひ上げられ生命に異狀な [illegible]

◉セメント事業益々多忙

小野田セメント會社技師長工學博士笠井眞三氏談 今回博士は平壤に建設中の小野田セメント會社分工場視察の爲め同地に赴くの途二日朝入港の連絡船高麗丸より上陸同十時三十分發北行列車にて平壤に向ひたるが發車待合の際鐵道ホテルに休憩中往訪の記者に語りて曰く

△需給の狀勢 我邦に於けるセメント界も近時一般工業の隆昌を極むるに從ひ非常の活況を呈し殊に海外需用地たる印度及び南洋方面の需用は歐洲戰亂以來著しく激增し昨年の如き同地方面に向ふて約七十萬樽以上の輸出を爲したるが本年は倚一層同地方面よりの注文は增加の狀況あるも所謂船腹不足の爲め遺憾乍ら其注文に應じて十分の輸送を爲し能はざるは甚だ遺憾とするところなるも內地の景氣は倍々良好にて土木工事の振興せるよりセメントの需用は激增の一方にて各會社に於ても其供給を滿さんと苦心し居れる狀況なり而して價格の如きも石炭の暴騰諸物價の騰貴せる爲め工賃の增加を要し運賃に於ても之れ又非常の高率を來せる爲め戰前に比し約二倍半の高値を示せり內地に於て斯くの如し印度方面に於ては既に三倍以上に騰貴せる由に聞く今日の狀態を以てせば前途は計り難き形勢に在るものゝ如し

△平壤分工場 本社平壤同工場は昨年以來建設に著手し居れるを以て本年內には大半竣工の筈なるも愈よ製造に著手することは來年一杯を要すべし同分工場に於て一箇年に製造し得る數量は三十萬樽の見込にて專ら朝鮮及び滿洲方面に供給する計畫なるを以て南地方に於ける工業界に對しては價格及び輸送の點に於て非常の利便を得ることゝなるべしと信ず近年朝鮮及び滿洲に於ける各種工業の隆興は著しき傾向あるを以て自然セメントの需用は增加せらるべきも本社は當分現在の計畫に止め置く積なり(釜山)

◉生牛輸出盛況

今年は日本內地に於ける活牛の需用非常に多く殆んど耕牛にも不足の狀態ありしが爲め朝鮮に對する買注文陸續として來り價額の如き平常は一頭二十七八圓乃至三十二三圓の間を上下したるもの昨今は四十二三圓と云ふ突飛の高値を呼び殆んど牛價金さへ出來すべき狀況に在り去れば昨今の如き慶繁期にも拘らず絕えず生牛の出入あり釜山神仙臺檢疫所の如き現に千四百頭を繫留し居れるが此外同所に收容し能はざるもの二千四百頭あり此分なれば本年の總移出は二萬頭以上に達すべく一頭四十圓として八十萬圓の巨額に達すべしと

◉棉花回著高

▲大正五年產 本年は千八百三十餘萬斤

棉花の各地繰綿工場へ廻著せる數量は總計實棉(繰綿は實棉に換算)一千八百三十二萬九千八百餘斤にして同年收穫高の四割に相當す內繰綿二百十萬六千八百餘斤陸地棉一千六百三十二萬二千九百餘斤にして其の收穫高に對する步合は前者に在りては一割九分後者は五割二分とす本年度總著高を前年に比するに在來棉は百八十三萬四千六百餘斤を增加し陸地棉は二百十二萬七千八百餘斤を減少し總計に於て二十九萬三千百餘斤を減少せり在來棉廻著高の前年に比し多きは平安南道及び黃海道に於て本年初めて繰棉業者が買收を行へる爲にして

▲陸地棉減少 せるは大正五年棉花生育期中降雨過多の爲作柄不良なるに依り一反當りの收穫高は前年に比し著しく減少し總收穫高は作付反別の擴張に依り前年に比し增加せるも各農家の販賣數量一般に減少せるに由るなり次に大正五年生產棉の同年十月より翌年六月に至る間に於て內地に移出せられたる數量は繰綿五百八十四萬二千二百斤其の價格二百五十四萬六千九百餘圓外に實棉十一萬六千斤價額一萬九千七百餘圓あり之を前年同期の移出額に比すれば移出數量に於ては減少せるも價格暴騰の結果其の價額は五十三萬五千餘圓の增加を示せり

◉平南煙草減收

平安南道に於ける煙草の原產地たる成川、陽德、寧遠、孟山、德川等各郡より道廳に達したる報告に依れば本年は播種後旱魃の爲發芽不良なりしが六月中旬降雨ありてより大に作柄を見直し爾來成育良好なれども幾分の減收は免かる能はざるべしと

◉平南甜菜病害

平南道當局の發表せし處に依れば道種苗場試作甜菜各試驗場圃を通じて褐斑病發生したるが連作せるものは初年作に比し發生の時期早く二、三、四年連作の三區は七月十八、九日より發生し目下の處下葉二三葉は黑色に變じ枯死せるものあり初年作區は二十五日より發生を認めたり即ち叙上の調査に依りて其輪作の必要を明かにして播種期の早晚に從ひ同病發生の遲速あるを確かめ得たると因に製糖會社輸入種子も同樣發芽後一定の日子を經て罹病せりと

◉組合基本財產

(慶北) 慶尙北道管內學校組合は近時著しく發展し各組合經費の如きは明治四十三年に於て總額一萬三千六百十六圓(組合數一二)なりしが大正六年に於ては十五萬九千五百四十圓に增加し(組合數四十三)基本財產は大正元年末に於て皆無なりしが大正二年末には一千八百三十四圓餘而して大正四年末には一躍九千二百二十二圓餘に達し本年度は一萬七千四百十七圓二十四錢に達せり斯の如くにして各組合共に組合經費に對して是非共基本財產の增成に俟つに非ざれば活躍し能はざるを自覺するに至りしは學校組合に取りては一大進步なりと謂ふべしと

◉無線電信擴張

木浦無線電信局は港內島燈臺を仲介として釜山方面と通信し黃海方面は航行汽船を通じて佐世保方面と交信し得るに過ぎざるを以て近く之を擴張し直接內地と通信し得る程度に改造せんとの內議あるやにて目下調査中なりと

◉慶北旱魃被害

大邱地方は客月上旬以降旱天打續き溫度又た著しく昂騰して昨今室內百度以上を見るために農作物の被害甚だしく水田は各所に龜裂を生じ畑作物は黃色を呈して生色なく此處一週間も雨なきに於ては農作物は殆んど枯死の慘狀を呈すべく農民は一般に憂苦しつゝあり

◉全北輕鐵營業成蹟

全北輕鐵全州驛に於ける七月中の乘降客及び貨物發著數量を聞くに乘客三千九百五人降客四千六十二人發送貨物二百四十三噸二分到著貨物五百二十三噸二分にして之を前月に比すれば乘客に於て七百三十五人降客に於て五百八十八人發送貨物に於て百六十七噸餘到著貨物に於て五百〇七噸餘の大減少を示せりと

◉講習閉會式

京畿道にては客月より小學校教員講習會、私立學校教員講習會、普通學校教員講習會等を開催中の處其の左記の如く閉會式を擧行する由

▲小學校教員講習會 客月二十一日より開催中なりしが今四日午前十時舊南大門小學校に於て閉會式擧行京畿道務部長及京城府尹高等普通學校長女子高等普通學校長等の參列あり

▲私立學校教員講習會 客月二十二日より齋洞普通學校に於て開催中の同講習は今四日午後一時閉會式擧行參列者同上

▲普通學校教員講習會 客月二十四日より校洞普通學校に於て開催中の同講習閉會式は來る六日午後一時擧行參列者同上

◉普通校長講習會

京畿道に於ては管內各普通學校長を召集して來る十四日より二十七日迄每日午前七時半より五時間宛京城高等普通學校に於て講習會を開催す可し因みに講習科目及び擔任講師左の如し

▲理科 京城高等普通學校教諭古川傳一 ▲朝鮮語 同 李完應

●浦鹽地方狀況講演會

來る八日午前八時憲兵隊司令部將校集會所に於て鳥井通譯の浦鹽地方狀況視察に關する講演會を開催すと

◉大邱雜俎

▲爲替貯金增加 七月中大邱郵便局に於ける爲替貯金の拂出入並に年金恩給受拂額は受入十四萬四百五十三圓九十四錢九厘▲同拂出十萬九千九百九十一圓四十九錢八厘にして之を前年同期の受入に比すれば二萬四千六百二十九圓餘同拂出に比すれば四萬三千三百二十三圓餘を何れも增加し受拂合計に於て七萬五千六百五十二圓餘の著しき增加を示したり

▲郵便貯金 大邱郵便局取扱に係る普通郵便貯金は七月中預入は受拂共各二萬二千餘圓振替貯金及び各一萬餘圓其他にありては何れも五百圓乃至六百圓の增加を見たり

▲郵便遞增 七月中大邱郵便局取扱に係る普通通常郵便引受十六萬八千六百七十八通同配達十八萬六千二百四十通合計三十五萬四千九百十八通にして之を前年同季に比すれば引受に於て約三萬通配達に於て約四萬通何れも增加したり

▲大邱銀行新築決定 株式會社大邱銀行は是れまで本町二丁目の朝鮮家屋を借入れ營業し來れるが業務の擴張に伴ひ今回地を本町一丁目元巡查派出所跡に卜し平家五十坪の稻瓦建物三十餘坪の行舍を新築する事に決し近く公入札に附する筈

▲中山分隊長挨拶 大邱憲兵分隊長大尉中山菅佐氏は二日倭館分隊大邱移轉に付著任挨拶の爲め諸官衙其他を歷訪せり

人事消息

▲齋藤錄三氏(慶北一部長) 三日夜入京不知火へ

▲松本眞吾氏(新義州鐵道家) 三日夜入京天眞樓へ

▲中谷孫七氏(大阪鐵業家) 同上

▲荒木友三氏(平壤鑛業家) 同上

▲鹿兒島觀察團(十餘名) 四日朝入京京城ホテルへ

▲鄭 [illegible] 松衛氏 久原鑛業 [illegible]

▲小磯元元氏(久原鑛南浦製錬所長) 三日 [illegible] 南浦へ

◉南言北語

ケレンスキー首相は附與せられたる絕對無限の權能に依て▲如何なる非常手段を以ても危急存亡の露國を救濟しやうとして居る▲若き此の新露國の建設者が大厦の覆らんとするを一木もて支へんとする苦心は聯合國人の大に同情を禁せざる所である▲而し乍ら人力には限あり殊にケレンスキー首相が病軀を驅つて此の難局に當つて居るのが既に露國前途の運命をして暗澹たらしむる處である▲玆に於て吾人は伊太利建國の三傑を緬想し露國に第二第三のケレンスキー君の現はれん事を期待せざるを得ない▲露國の娘子軍は天晴れ陣頭に立つて腕だめしをやつたが▲其の又た相手が獨逸の娘子軍であつたとは面白い▲お轉婆同士が戰場での組討ち此奴は餘つ程觀物だつたらう先めて引つ搔く引き摑るキャッ〳〵やつた事だらう▲戰爭の餘興としてはたしかに逸物だつたに違ひない▲支那の馮總統も愈々一千の手兵を提げて堂々と北京入りをやつた▲扨て之から段君の腕ッ振りの鮮な處が拜見出來るのかナ▲馮君は宣戰はやつても加入はせぬと聲明して居る▲段君は宣戰すれば無論加入するとは昔からの主張だ▲既に國務總理と總統との意見は今から反對である▲其の反對が何う融和されるのかまあ見物は無言で見て居るのが好い▲餘計な事など考へずに此暑い折には氷でも嚙つて居るのが安全第一だ

滿鮮鐵道の統一

京城本町二丁目 株式會社 第一銀行京城支店 【電話長一一一番】
京城本町二丁目 株式會社 百三十銀行京城支店 【電話長五八番】
京城黃金町二丁目 株式會社 十八銀行京城支店 【電話長四二〇番】
京城南大門通二丁目 株式會社 漢湖農工銀行 【電話長五二四番】
京城南大門通二丁目 株式會社 朝鮮商業銀行 【電話五五八番】
京城南大門通一丁目 株式會社 韓一銀行 【電話長一八九五番】
京城南大門通一丁目 株式會社 漢城銀行 【電話長一八六一番】
京城本町二丁目 株式會社 京城銀行 【電話四三一番】

滿鮮鐵道の統一
京城南大門通二丁目
株式會社 土佐紙會社支店
電話三一五番 二二七〇番

滿鮮鐵道の統一
(いろは順)
京城本町二丁目 巴城館 電話三一、五〇七番
京城本町二丁目 浦尾旅館 電話一〇三一、一一七番
京城本町二丁目 山本旅館 電話三二五番
京城南山町二丁目 天眞樓 電話六四九、七二三番
京城旭町二丁目 不知火旅館 電話七一九番

滿鮮鐵道の統一
京城新町遊廓
組合員一同

(社)將來の成功を祈る

三百の祝杯!

盛會なりし鮮鐵委任經營披露宴

二日午後七時朝鮮ホテルに於て

入京中の滿鐵理事長國澤新兵衞博士は二日の午後七時から鮮鐵の委任經營を引受けた披露の意味にて京龍仁三地に於ける各方面の代表者三百六十名を朝鮮ホテルに招待し

◎一大盛宴を張つた、午後の六時を過ぎると官民の重人實業家新聞記者等續々ホテルに吸ひ込まれた、國澤理事長久保上田横井其他の諸理事が迎へる七時頃二百以上の來賓あまり大廣間が名方面の客談論湧き出すと休憩室の舞臺で一名の踊がある、七時三十分ドラを合圖として一同食堂に設らへた長卓に主客合せて無慮三百名着席樂隊の吹奏と共に

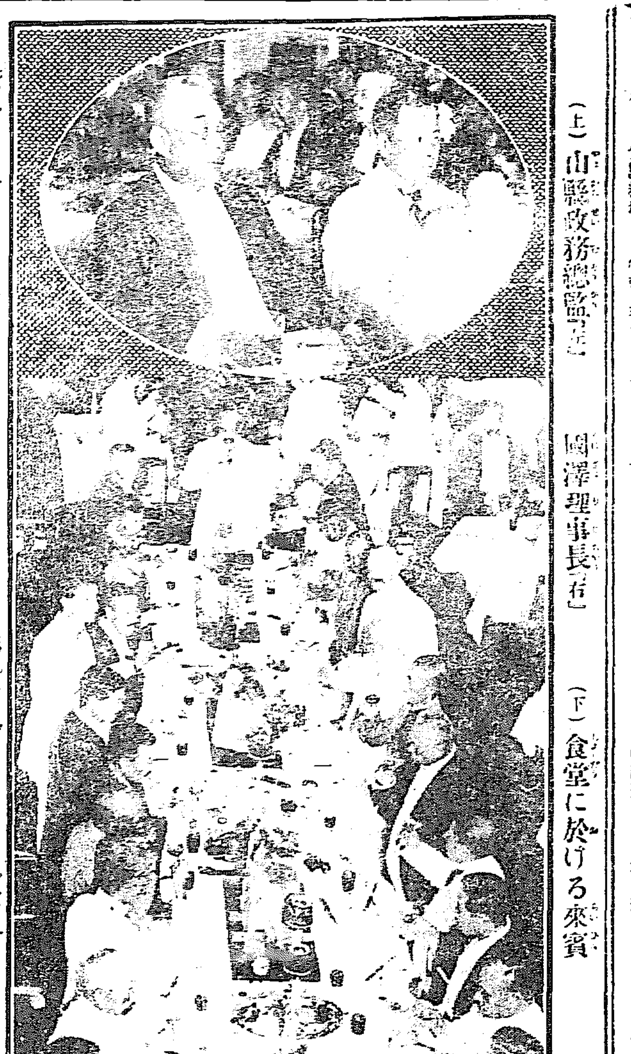
◎食事が開始する大氷塊と多數の扇風機と涼しげな電燈が食堂内の氣持を快適にした、宴酣なる時國澤理事長は起つて從來滿鐵の經營に當り好意を受けつつあるを謝し更に今回總督府より鮮鐵の委託經營を受くる事となつたから將來一層の援助を望む旨鄭重な挨拶があり三鞭を擧げて一同の健康を祝する次で來賓を代表して秋山軍司令官は滿鐵が不斷國家に

◎多大な貢獻をしてゐる事を稱讚し次で今回の鮮滿鐵道統一は吾が大陸經營上に寄與する所決して尠少ならざるべく、折角御經營の順調な成功を祈ると云ふ意味の謝辭あり一同と共に盃を擧げる、其の献酬終るとホテル後庭に設らへた模擬店開始のドラが鳴り渡り三百の一團はゾロゾロと食堂を出る、模擬店は滿鐵の紋章入りの提灯を

◎涼し氣に飾つて 闘い塲を中心とし七色茶漬、薄茶團子、汁粉、鮮滿料理關東煮、饂飩蕎麥、甘酒飴湯、珈琲、氷、菓サンドウヰッチ、和洋飲料、果物、煙草と云ふ素晴らしい數で、其間京城花柳界選り抜きの藝妓約八十名並に妓生二十名が素人扮裝で接待に努める、ドノ店も相當な繁昌を呈したが殊に氷菓、果物店は多くの客を呼んでゐた、山縣政務總監、秋山大將、外國領事等の

◎姿もそこゝに見ゆる夜の帳が下りて滿月が徐々に中空に上り出ると庭内に設けた活動寫眞を撮影し、會衆に時の移るを忘れしめた一同其の歡樂を盡し漸く散會し始めたのは九時半頃からである、因に當日來賓の主な人々は山縣總監秋山大將國分宇佐美小原鈴木各長官小宮次官古海中將外國領事大田鮮銀理事野三井店長等であつた

(上)模擬店の滿鮮料理 (下)國澤理事長の乾杯


(上)山縣政務總監(左) 國澤理事長(右) (下)食堂に於ける來賓

の經過を聞くに馮氏の失脚以來華富銀行は專ら張督軍の保證の下に營業を繼續し居たるより格別の影響を蒙らざりしも是より先段總理より經營整理の必要あり其結果一日より[illegible]の依業を發表する事となり[illegible]しもの[illegible]出にて[illegible]同情あるに

[illegible]名が本年六月中旬山桑採取の爲揚州郡南面の國有森林釜山重別路谷に出でしに礦穴あるを發見せし旨屆出たれば道技手出張調査せるに坑は約[illegible]し將來有望[illegible]めたりと同道に於ける礦穴は今回の發見を以て嚆矢とすと

◎誘拐して弄ぶ

在旭の妻金義富(二)が[illegible]と折合惡きに乘じ金蒲家の嫁に周旋すべしと欺きて說き伏せ家出を勸めて去月二日の夜九[illegible]馬威鍋に連れさせ途中[illegible]られたり[illegible]捕へられ[illegible]方法院に送られ豫審中の處卅一日決[illegible]し同時に誘拐罪として公判に附せ[illegible]狀あり住事[illegible]出來す案内の者も注意中卅一日夜は非常の[illegible]まで散歩がな妻と共に[illegible]町三丁目附近まで[illegible]に出懸けしが同所の

◎米國の酷暑

死者三百三十二名

米國東部及び中西部諸州の酷暑は未曾有にして既に死者三百三十二名を出せり(桑 電報)

◎東遼河上流

大洪水

交通杜絶被害夥し

東遼河上流地方に連日豪雨あり鄭家屯附近は七月三十一日より河水氾濫し市街は中央部と五分の一を除き全部浸水し日本人居住地も被害甚だしく家屋の倒潰、支那人の溺死者多く慘澹たり八月二日午後より稍々減水せる模樣なるも兎も角同地街鄭家屯の交通は全く杜絶せり對岸の松樹嘴子附近も亦被害多く巴林多羅方面にも氾濫し人畜の死傷少なからざる見込なり尚長春城外伊通河も増水し危險なりとの報あり(大連特電)

▲邦人被害甚し 鄭家屯大出水にて被害民夥だしく就中[illegible]百餘名の邦人は財産全部を失ふに至れり長春領事館より救援隊を派遣すべく尚交通電信共に杜絶の狀態なり(長春特電)

◎集配人同盟罷業

山口縣岩國郵便局集配人は同盟罷業せり(東京電報)

◎富士紡績

罷業問題解決

富士紡績會社の罷業問題は漸く解決を見るに至り三日より一同就業せり(東京特電)

◆河童の茶目新聞

何處まで茶目る氣か底が知れぬ

◆總督府經理課の若殿原は暑中休暇さへあれば仁川に下つては河童遊びに餘念がないお蔭で何れも顏や體は上等本黑に染め上げられ夜になると暗に夜鳥で妻君が折々主人を見失ふと云ふので目標に亭主には白地の單衣ばかり着せて置く家もあるといふ事だ

◆處でこの大茶目小茶目赤河童の連中が近來機關新聞を發行し名付けて『海水浴新聞』と題して居る其の新聞は謄寫版刷りで大判朝鮮紙を四ツ折りにした四頁新聞である發行兼編輯人が凸山凹三君印刷人が赤茶目ベソ作發行所は仁川本町原金旅館内經理會臨時海水浴本部となつて居る

◆一方に非賣品と明してあるかと思ふと本紙定價とある處には一部一圓とある一部一圓は高いが若し印刷されて居なければ確かに一部二錢の値打はある、廣告料金一行十圓とあるは近來のレコード破りであるが廣告は割合に掲載されて居らぬ、内容は言論、演藝、内外電報、雜報、社會部、文藝讀者倶樂部と云ふやうな欄に分けて徹頭徹尾洒落廻はして居る

◆社内には一寸小氣の利いたスケツチ畫家も居つて蝙蝠やら鴫やらうな鳥や、ヘルメツトかなと思はれるやうな燈籠なんぞをスケツてる、第二號は原金の女中さん連が大分材料にされて可愛さうにお品さんとやらは泣いて居る處まで畫に描かれて居る第三號は風紀上面白からずとあつて幹部から頒布を禁止されたとは何處まで茶目る氣か底が知れぬと目下仁川邊と倭城臺邊で噂とりどく

◎内地人の幼兒を脅喝す

鮮人賊捕はる

京城大和町一丁目居住遞信局吏の子息なる手塚慶二郎(九)向井田昇(二)小高啓三(二)外一名が七月二十六日午前十一時頃南山公園に遊び居れる所に住所不定放火罪前科一犯の曲者李貴童(二八)が來り

▲内地語に巧みなるより前記の幼兒に對し泳ぎに同伴すべしと山手の方に誘引したるも一同は恐れをなして肯き入れず逃げ歸りたるに李喜は之れに尾行し啓三に菓子代一錢五厘を與へて呼び止め現金五十錢か一圓を持參せずば殺害すべしと嚇したるより大に恐怖したる慶二郎は急ぎ歸宅したるに兩親が不在にて詐ぶべき人もなきより有合せたる遞信局共同請負組合發行の一圓債票二枚を持ち出し

▲現金の代りに提供したるに李は之れを騙取して逃走後廿七日夜には孫て樣子を熟知し居れる旭町一丁目殿田九一郎方に忍び込み白米、煙草、鍬、寢臺、敷蒲團を竊取し壁を切り破つて逃走を企て居る所を家人に取押へられ本町警察署に引渡されたり尚ほ係官の記る幼兒を恐嚇したる本件に就き係官は曰く近來は鮮人の不良少年には内地語に巧みなる者多く

▲之れを利用して内地人の少年や少女に接近しやうとするから却な油斷が出來ない、殊に幼兒を山の手方面の鮮人不良少年等に接近させぬ樣家庭で注意することが肝要である、飛んだ危害を蒙るやうなことがあつてはならぬ

◎溺死

京城鍾路一丁目五十一番地金慶信長男順龍(一五)は一日午後三時半頃麻浦下の漢江にて外三名と共に游泳中溺死し檢視の上屍體は實父が引取れり

◎平壤暑氣酷し

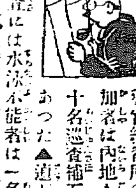
平壤地方は先月中旬以降暑氣俄かに酷烈となり今に至る迄毎日最高温度は華氏九十五度内外を示し攝氏三十二三度を下らざる狀況にて空氣殊の外乾燥し人體にも甚だ不良なり今後漸らくは降雨なかるべし因に七月二日午後測候所調査温度は華氏九十五度七分攝氏三十五度四分なりしと(平壤)

◎美術研究會例會

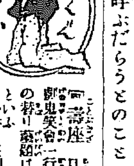
京城美術研究會にては五日午前八時より正午迄西大門倶樂部にて例會を開き會員各自所有書畫骨董品の内一品宛を持寄り左の研究等を爲す由 △講話拓本の研究(丹羽海鶴君)△出品物の說明及び研究品評

◎探涼園慰勞會

本社主催東萊海雲臺探涼園員一同は同園幹部を慰勞する爲め五日旭町の旗亭白水に於て一夕の清宴を張るべし



警官練習所の水泳參加者は内地人巡査八十名巡査補五十名であつた▲道が内地人巡査には水泳不能者は一名も無かつたが巡査補には全然心得の無い者が二十一名あつた但しそれも三日間の練習で一應泳げるようになつた▲何分朝の六時に練習所を出て午後四時まで水泳の傍ら炎天で角力を取つたり驅ツ競をしたり警官としての實地教練まで受けその上にまで往復四里二十丁の道を歩いたので▲一同何れも面白いやら苦しいやら大分困つたらしいがそれでも血氣盛りの者が多かつたので三日目になつて百三十名の内八名の病者が出來た丈でその他は皆無事だつたのは好成績だとは連日の運動に眞ッ黒になつた松井警視が水泳場での話し▲蒲鐵の上田秘書役が發きに朝鮮人の骨董品を漁つて二三圓で買ひ取つた古茶碗が近頃になつて大層値打のあるものと知れ内地に持つて行けば一百圓以上の値を呼ぶだらうとのこと



回壽座 目下開演中の喜劇鬼笑會一行の四日目よりの替り藝題は左の如くなりといふ △一番目笑劇家庭會二場△二番目喜劇朝日丸三場△三番目悲劇婦系情話二場△四番目喜劇トランク三場

回黄金館 四日より全部新寫眞と差替へたるがその主なるものは左の如し ▲新派悲劇賜衣▲活劇護る影四卷▲新派正喜劇野崎村二場▲騎士寶翁▲喜劇右衛門

回有樂館 二日より差替への活劇大金塊、滑稽パイプ屋の危險、西坂櫛稲の卷、新派劇母の心、舊劇肥後の駒下駄等喝采を受け居れり

回大正館 目下撮影中の冒險活劇ヘレンの冒險、新派劇俠客者、滑稽活劇亂暴者、舊劇一國女ともに好評

回浪花館 東京落語家門助六一行にて毎夜目新しいところを聽かせ居り殊に落語角力は喝采を受け居れり

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城日報社

鎮痛藥 ホシコロダイン 定價10.20
△胃痛△腸痛△中暑△[illegible]△食傷△吐瀉
東京市[illegible] 星製藥株式會社 各地特約店及藥店にあり
特約店 京城府太平通二丁目三五 キムラ藥房

營業科目 ゴム板類 各種ゴム管 自働車タイヤ 自轉車タイヤ ゴムベルト ゴムロール 諸機械用 鐵道用 船舶用 エボナイト 電氣用 鑛山用 醫術用 其他一切のゴム製品
A 傳動用には何と云ても最も合理的なゴム調帶に限る 炎熱燒くが如き候には最も理想的なA印氷枕に限る
角一ゴム合資會社朝鮮總代理店
角一商店
京城南大門通二ノ二五 電話六〇九番 振替口座京城三三四三二番

袖珍 府及學校組合法規提要
宇佐美内務部長閣下題字 小原農商工部長官閣下序文 京城日報社編纂
△定價金壹圓廿錢 送料本社負擔
內容 勅令、制令、府制合及學校組合、府令、調令、通牒等苟も府制合及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より内地人各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
裝幀 携帶に便ならしめんため製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總洋布天金製の文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め毎頁の上部約一寸五分を餘白とし更らに卷末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書編纂上に於ける用意の一端を窺ふに足る
大賣捌元 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

SPONGE TYRE MADE IN JAPAN PATENT NO 27882 MADE BY SPONGE TYRE & CO.
スポンジタイヤーの提供
絶對にパンクの恐なし 耐久力絶大にて理想的タイヤーなり 長途旅行安全なり
從來代用のタイヤーを外國にても多年研究中完全無欠のタイヤーは我國にて發明せられたり
日本 英國 露國 印度 佛 米國 專賣特許品
朝鮮一手販賣 釜山本町一丁目 一〇商會

富山房出版圖書 百九十種 臨時大特賣
特價目錄進呈
現在品を限り破天荒の特價を提供する者にて部數極めて僅少也、而も現品切となれば一切增刷せず且つ期間極めて短かし此機を逸せず即時申込あれ
東京神田 富山房 振替五一〇

花匠（七三）

松田竹の島人作

京子の揶揄するやうな、嘲けるやうな言葉に、早見は毅然として、

『貴方は、此早見謙吉を、然う何時までも戀の覊絆を脱することの能きない、腑甲斐ない男と思つてゐらッしやるんですか。若し然うなら心外ですが……。』

『でも貴方が、然うしてお琴の居る宅の別莊へ往らッしやるところを見れば、以前の御關係が御關係ですから、誰れだッて然う思ひますわね』

と京子は何ほ疑つてゐるやうに言ふ。

『私のお琴に對する戀は、疾うの昔、夢と消ゑてゐるんです[illegible]』

『では什麼いふ御變[illegible]別莊に往らッしたんですか。僞目を……琴の美しい顏を御覽になる爲めぢやなかッたんでせうか？』

『以前私の素行が修まらなかッたので、貴女から然う思はれるのは、自己より生じた罪で、誰れを恨むところはありませんが、私のお琴に對する戀は、既に夢と消ゑてゐるのですよ。私が今日、東京から態々御宅の御別莊へ來ましたのは、其腐浮はづいたことでなくッて、實はお琴の心を高く持たせたいのと、市野君の姿であることを熄めさせやうと思つたからです』

『然うでございますか』と京子は意外なのに驚いて、

『然うしてお琴は、何んと言つて居りましたですか？』

『私の言ふことを總て肯き入れてくれました』

『何んて感心な女でせう』

『何れ近い内に、御別莊を引き揚げて、再び藝者として出るでせう。出るにしても、從來と違つて、清い藝者として稼がうといふのです。彼れは教育も何んにもない婦人ですが、道理は分る者で、能く言つて聞かせれば、[illegible]』

[illegible]

『女だッて志想が堅くなかッたものですから、淺誘惑に乘つて、身を誤つて了ひました。然うして貴方は、今何處に御住ひに爲てるのですか』

『宅ですか……』と早見は應へに躊躇して、

『別に宅といつてはありません。一定に家のない浮浪人です。』

『其麼ことを仰つて……』と京子は、早見が戲談を言つてるのだとばかし思つた。

けれども早見は、至極眞面目で、

『全くです。蝸牛でさへ家を背負つて居りますのに、私は棲む家がない程零落してゐるのですからね』

『御戲談ばッかし言つてゐらッしやる。』と京子は笑つて、早見のいふことを信じなかつた。

日本鑛産株式會社の營業課長を罷められても、高等の學問を爲て、法學士の肩書を有してゐる早見だものを、外に生活の道は幾らもあつて、棲むに家のないまでに零落してゐるとは、京子ならないにしても、誰れでも然う思ふものはなからう。

『戲談ぢやありません。私は眞實のことを御噺してゐるのです。それに今の私は戲談を申上げるやうな不眞面目ではありませんよ』

日報俳壇

蚊
[illegible]

水馬
水馬の足に消ゆるや水の泡　同
[illegible]水馬　同
釣糸を動かし去れば水馬　龍泉
釣堀静に日落ちてゆくや水馬　大轄
日盛けて殿ぎ流るゝ水馬　小嵐山

雷
避雷針がぎらつく雷の雷鳴　孝作
夏草に雨誘ふ風やはたゝ神　花翁
雷雨來る響しを声の戰ぎ哉　隠山

水鶏
[illegible]

蟬
[illegible]

蚊帳
[illegible]
重よふと母の嬉しき蚊帳哉　下介

新刊紹介

▲現代俳諧　佃人支士の俳論と本號の俳人の俳句數十種を納めたる贅澤なる本なり（一冊二十錢東京神田一橋通七俳諧社）

▲長春商業會議所月報（八）　長春商業會議所

▲名古屋商業會議所月報　名古屋商業會議所

▲地方行政（八月號）一部十五錢東京京橋加賀町帝國地方行政學會

▲少女の友（八月號）[illegible]

▲實用口語法（保科孝一著）日本語を始めて[illegible]

▲住宅（八月號）一部十錢東京芝琴平町一住宅改良會

印章ゴム　版木彫刻　名刺印刷　京城本町一丁目　千代田號　電話九八七番　振替八七番

▲刀の研究（三ノ七）一部二十五錢東京下谷茅町二ノ四南人社

▲ニコニコ（八月號）[illegible]

▲ジャパンタイムス（少年號）一部十二錢東京麴町内幸町一ノ四ジャパンタイムス社

▲人文（八月號）一部十四錢東京小石川白山御殿町一一七哲學會事務所

▲シオン（一ノ四）一部七錢東京下谷谷中七四四國教會シオン部

▲婦人畫報（八月號）[illegible]

▲朝鮮基督教（月報二三）[illegible]

▲諸の友（二ノ八）一部十五錢[illegible]

▲價値ある生活[illegible]

▲コロニー（一ノ二）[illegible]

▲大田實業協會月報（二ノ七）大田實業協會

▲文明農報（二ノ七）一部十錢東京大久保[illegible]

▲第三帝國[illegible]

讀者の領分

▲漢江の鐵橋竣工[illegible]

▲新龍山[illegible]

[illegible]舌や質に聞くに堪へない風俗壞亂的のことを高聲で口走るかあれが病的か其れとも戲談に云ふのか僕は分らない不幸にも彼れと六回乘り合せたが何度同樣の奇聲を發するのを聞いて甚だ不快に感じたが恐らく僕のみならず他の同乘者も同感のことだと思ふ若し戲談に云ふならば自己の人格にも關するのみならず吾々日本人の體面にも關するから愼み給へ（猜僻生）

▲京城の皆様に告ぐ、南山や漢陽の夕涼をあなたがたの遊び場としては決して惡るくはありますまいが、私は或る意味に於て子を愛する親達御一しよの家族的遊覽場としては如何かと思ひます、いらつしやい郊外へ清涼里へ、蟬の鳴く音が一しきり喧きやみませば、並木の柳は綠の野べに影長く引いては暮るゝ夕ぐれ昔出を渡るそよ風の涼しいこと、それに今年の螢の多いこと、まだ新開などにも何とも見られませんので皆様は御存じないのでせう、今が眞盛りいらつしやい是非〳〵父さんも、母さんも、坊ちやんも孃ちやんも右手に團扇左手に螢籠持つて（清凉里浪々生）川合久子さんお子さんが大きく成たでしようね他家に養子にやつても揉は揉です不幸の母よ不幸の子供を愛してやつてください愛して笑ふ人はありませんよ（近所の者）

商況

大阪より特電

	當限	中限	先限
寄附	二〇、四〇	二一、七九	二一、六九
高値	二〇、五五	二一、八〇	二一、七〇
安値	二〇、三〇	二一、六六	二一、五五
止め	二〇、三二	二一、六八	二一、五五

[illegible]押したるが折柄大阪三品當二十一圓三十四錢先二十一圓十錢と[illegible]

▲大激戰大商盛 [illegible]

▲三品現物界 [illegible]

京日案内

▲貸宅地　老人亭下七八坪三二坪五二坪地均濟風色閑雅騷人大和町老人亭下岩佐保に適す

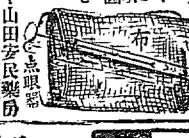
▲女優志望者を求む　委細は本人と面談の上廿五歳迄

▲ほねつぎ　柔術道場

▲鑛物各種分析　松永分析所

▲安心出來る種物店　清水自轉車店

▲恩給年金　山口屋


目薬ハ目ニ見ヘテズンぐトキクシュマズイタマズ　井上博士　ロート目藥　本舗　東京・大阪　山田安民藥房

旅行用具　東京製　鞄　京城太平町二丁目　岩田鞄店　電話五九四番

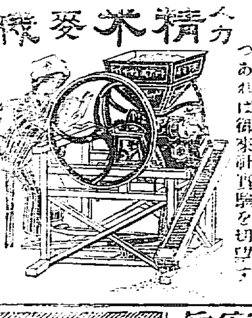
るいれ

質　大口歡迎　京城黄金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

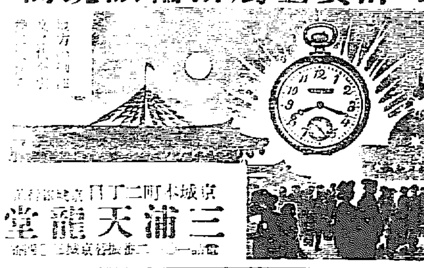
くだりはらによし　しぶりはらによし　コレガ有名なあかだま　赤玉　東京浅野製

明治町佛蘭西教會坂下　ドクトル　女醫　中村齒科醫院　分院（黄金町二丁目郵便所隣）　電話二五三番　電話一八九番

金銀品製作　指輪專門　京城本町一丁目　高木商店　電話九九一番


分精米麥機　效果迅速の保證を附す　原田鶴太郎商店　東亞物產製機界

利益を生む


時計貴金屬指輪眼鏡商　京城本町二丁目　三浦天龍堂

購買精米　龍山陸軍倉庫　詳細八月二日以降朝鮮官報ニアリ

二りん病　ばいい毒　京城永樂町二丁目　ドラッグ商會

月やくぐすり　每月丸　月經不通を快く通じ　月經不順を快く調へ　月經困難を快く治す　本舗　丹平商會藥房

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版　亞鉛版　京城日報社寫眞製版部

大阪屋號書店

天然生活法

進むべき道

最新刊

眼科專門　京城明治町東拓横　江頭眼科醫院　江頭富雄

資本金壹百萬圓　京城　株式會社　漢湖農工銀行

陸軍御用酒　發賣元　三巴酒造株式會社　大田出張所　平壤出張所　京城蓬萊町

特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

朝鮮官民必備寄典　最新刊　賣捌所　京城日報社代理部

朝鮮六法全書　全壹冊　東京巖松堂書店編輯部編

愈々明五日開會　南齊百畫會　會場　南山町花月

桂商會　東京市日本橋區南茅場町七番地

有給外務員採用　南大門驛前二見旅館内　鈴木主任迄

物品入札拂下　第一號　複式小割竪鋸機械　壹臺　第二號　古金　約壹千六百貫　第三號　古水底線　約壹千百五拾五尺　朝鮮總督府營林廠